告示セラレタリト雖モ尚其起業ノ目的等ヲ提記センニ夫レ本邦從來農ヲ以テ國ヲ立テ頗ル其効績ヲ顯ハスト雖モ全國中現ニ耕植ニ宜シキ田ニシテ久シク草莱ニ委シ牧畜ニ佳ナル野ニシテ猶オ磽确ニ屬スルモノ多シ嘗テ試ミニ土地人口ニ就テ之ヲ驗スルニ全國ノ面積大約二萬四千八百方里ノ多キニ居ルモ其耕地ハ凡二千七百余方里ニシテ僅カニ十分ノ一強ノ割合ニ過キス而メ人口ハ三千四百三拾八萬八千三百餘人ノ内千五百六拾三萬六千百餘人ヲ農トシ即チ十分ノ四半強ノ割合ナリトス則チ豈ニ之ヲ地ニ遺利アリ民ニ餘力アリト謂ハザルヘケンヤ其然ル所以ヲ推考スレバ復タ唯運輸ノ便能ク開ケズシテ其産出スル物動モスレハ一所ニ凝滯シテ各地ニ融通セス遂ニ其利用若シクハ價格ヲ亡失スルニ至ルノ弊多キニ居

レリトス而メ又斯ニ他ノ商工モ隨テ販鬻製作等ノ職業ヲ盛大ニスルニ由シ無キ所以ノ實アルヿ推シテ知ルヘキナリ又本邦ノ鑛山ニ富ムハ夙ニ著名ナリト雖モ資本器械ノ充足セサルト人民ノ此業ニ習練スルノ少キトニ由リ或ハ之ニ從事スル者アルモ多クハ充分ノ利ヲ收ムル能ハス其甚シキハ多少ノ收益ヲ確認スヘキ良坑アルモ措テ之ヲ不問ニ付スルニ至レリ且ツ方今ノ際銀行諸會社ノ如キ稍繁興ノ運ニ赴ケリト雖モ之ヲ要スルニ商賣製作ノ事依稀振ハスシテ運用活動ノ道ニ乏シキヲ以テ動モスレハ其積集ノ資本ヲシテ空シク凝滯ニ委セシムルノ現狀無キ能ハサル所以ノモノハ他無シ復タ物産繁殖ノ源未タ開ケス融通運輸ノ道能ク通セザルヲ以テ其交互連貫相待テ進歩スルヲ得ザルノ故ニ坐スルノミ故ニ今ノ際ニ當

テ本邦ノ計ヲ爲スニ豈ニ又務メテ海門ヲ修繕シ陸路ヲ開通シ以テ往來運輸ノ便ヲ擴張シ併セテ諸鑛坑ノ開採幷ニ開墾牧畜其他ノ農事ヲ振起改良シ以テ百貨物産ノ增殖ヲ謀ルニ過キタルモノアランヤ是レ實ニ今日ノ急務ニシテ其起業ヲ渴望スル蓋シ一日ニ非サルナリ今ヤ政府方サニ觀察採擇スル所アリ右等ノ事業ヲシテ大ニ振作スル所アラシメントス而メ是レ原ト巨額ノ費途ヲ要シ嘗テ賦稅其他ノ能ク辨了スル所ニ非サルヲ以テ百方之ヲ經畫シ終ニ此公債ヲ起シ募集スル所ノ金額ヲ以テ悉ク此費途ニ供スルヿヲ議決セリ蓋シ此起業タル施爲其宜シキヲ得ルニ於テヤ乃チ殖産ノ利源ヲ開キ商賣ノ隆運ヲ賛シ終ニ全國ノ富實ト一般ノ幸福トヲ組成スルノ基本タルヿ復タ疑ヲ容レザル所ナリ若夫レ此公債ノ如キハ既ニ政

府ノ信憑ヲ以テ發行セル利付ノ債券ナレハ之ヲ有スル者ハ坐カラ自個ノ儲畜ヲ增殖スルヲ得而メ其募集ニ充ツル所ノ金額ハ總テ國家富實ノ資用ニ供シ以テ一般ノ便益ヲ增スヲ得富者ハ之ニ由テ其蓄積ノ寶貨ヲ閑却シテ瓦礫ト同視スルノ弊無ク貧者ハ之ニ由テ各各其應分ノ力役ニ就キ始終生産ヲ保ツノ益アル等其便利昭々乎トシテ蔽フヘカラサルモノアリ仍テ今爰ニ起業ノ部類幷ニ此公債ノ費途概目ヲ掲示スルヿ此ノ如シ

第一　西京大坂間ノ鐵道線ヲ延ヘテ直チニ敦賀港ニ達スル事

第二　新潟幷ニ石ノ卷等ノ諸港ヲ疏鑿修繕シ及ヒ各地要用ノ陸路阪道ヲ開通創平スル事

第三　秋田縣下院内阿仁其他ノ鑛山開採ヲ改良シ及ヒ銀銅製煉

所ヲ設立スル事

第四　北海道岩内幌内ノ炭坑ヲ開鑿スル事

第五　諸曠野ヲ開墾シ及ヒ牧畜其他ノ農事ヲ興起改良スル事

右數項ノ起業ハ此公債募集ノ擧ト共ニ順次着手シ大小難易ニ由リ遲速アルヘシト雖モ大抵二年乃至五年迄ニシテ竣功ヲ見ルノ目的ナリ而メ此公債募集ノ金額ハ決シテ他ニ消費セス悉ク擧ケテ以テ右等ノ起業ニ充ツルハ既ニ確定シテ動クヿ無シト雖モ其之ヲ各起業ニ分附スルノ割合ハ實際ニ於テ多少斟酌スル所無キ能ハサルヲ以テ暫ク之ヲ明示セズ尤モ右起業上ノ計算ハ着手ノ初メヨリ殊ニ之ヲ詳明ニシ毎年其進歩ノ景狀ト收出ノ計算トヲ公示スヘシ且ツ此公債元利ノ支消ハ右等起業ニ於テ回收スル所ノ利益ヲ以テ之ニ

充ツル見込ナリト雖モ起業創始ノ際ニ當テハ固ヨリ其收益ヲ見ル能ハザルノミナラス又右ノ起業中ニハ全般ノ殖益ヲ主トシテ該業ノ得失ノミニ關セサルノ類アルヲ以テ此公債ノ元利拂戻シノ目的ハ原ト大藏省ニ於テ別ニ計算ノ在ル有リ追テ本年度ノ歲入出豫算公布ノ日ヲ待テ之ヲ詳悉スヘシ

右ノ通爲心得示達候條體認盡力可致候事

年　月　日　　大藏卿姓　名　印

○議長　發議ナキヲ以テ不備不明等ノ廉ナシト思考スル者ヲ起立セシム

全員悉起立

○議長　全員悉起立セルヲ以テ例ニ遵ヒ上奏スヘキ旨ヲ告ケ散會セ

シム

午前第九時閉場

元老院會議筆記明治十一年五月九日

○第九十九號議按 蠶種製造諸規則廢止ノ儀布告 撿視會

議長 有栖川熾仁

出席議官

一番 津田眞道

四番 大久保一翁

五番 細川潤次郎

六番 柳原前光

七番 佐野常民

九番 河野敏鎌

十番 東久世通禧

十一番　黒田清綱
十四番　水本成美
十七番　山田顯義
十八番　楠田英世
十九番　陸奥宗光
二十番　齋藤利行
廿三番　宍戸璣
廿四番　津田出

午前第十時二十分開場

○議長本日ハ第九十九號議按ノ撿視會ヲ開ク例ニ遵ヒ發言スヘキ旨ヲ告ク

○書記官本田親雄　左ノ按ヲ朗讀ス

明治七年二月第拾九號布告蠶種原紙規則同八年三月第四拾七號同十年四月第三拾九號右規則中改正布告及同八年二月第三拾貳號布告蠶種製造組合條例并蠶種製造組合會議局規則同年四月第六拾五號條例追加同十年五月第四拾貳號初度夏蠶種製造方布告共廢止候條此旨布告候事

○議長發議ナキヲ以テ不備不明等ノ廉ナシト思考スル者ヲ起立セシム

全員悉起立

○議長全員悉起立セルヲ以テ例ニ遵ヒ上奏スヘキ旨ヲ告ケ散會セシム

午前第十時二十五分閉場

元老院會議筆記明治十一年五月九日

○第百號議按 違式註違條例第三條中増加ノ儀布告案 第一讀會 第九十九號議案撿視會後之ヲ開ク

議長 熾仁親王

出席議官

一番 津田眞道
四番 大久保一翁
五番 細川潤次郎
六番 柳原前光
七番 佐野常民
九番 河野敏鎌
十番 東久世通禧

十一番　黒田清綱
十四番　水本成美
十七番　山田顯義
十八番　楠田英世
十九番　陸奥宗光
二十番　齋藤利行
廿三番　宍戸璣
廿四番　津田出

○議長　第百號議案ノ第一讀會ヲ開ク例ニ依テ討論ス可シ

○書記官本田親雄　左ノ按ヲ朗讀ス

布告按

明治九年九月第百十七號布告違式註違條例第三條中無力ノ者ノ下（及ヒ贖金ヲ出スヿヲ肯セサル者）ノ十四字ヲ增加候條此旨布告候事

○九番河野敏鎌　斯增加ハ實ニ已ムヲ得サルニ出ル者ナリ何トナレハ違警罪犯ノ徒動モスレハ贖金ヲ出スヿヲ肯セサル者アリ然ルニ強テ之ヲ出サシメントスレハ巡査ヲシテ其家ニ至リ以テ資力ノ有無ヲ實驗セシメサルヲ得ス此ノ如キハ其事犯宛モ盜罪ノ處分ニ近キモノアルヲ以テナリ然ルニ若シ此法ナクンハ社會ノ安寧ヲ害スル素ヨリ假恕スヘカラス乃チ已ムヲ得ス實決セサルヲ得サルモノトス惟フニ已ニ此法ヲ頒布セハ彼強情者モ亦自カラ跡ヲ社會ニ絕ツニ至ラン

○六番柳原前光　九番ニ同意ナリ抑モ違式註違ノ條例ハ凡テ贖罪法ナリ

ト雖モ無資力者ニ至テハ亦如何トモ處スルニ道ナシ故ニ第百十七號ノ布告モ亦已ムヲ得サル所ナリ然レﾄﾓ尚ホ贖金ヲ出サヽル者ノ處分ニ欠ル所アリ今此增加ヲ得テ初メテ全備セルカ如シ依テ之ヲ賛成ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ第一讀會ハ爰ニ畢ル可シ

○十九番（陸奥宗光） 引續第二讀會ヲ開カレンヿヲ建議ス

○五番（細川潤次郎） 賛成

○議長 十九番ノ建議ニ同意者ハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長 全會一致ニ依リ引續キ第二讀會ヲ開ク可シ

○書記官（本田親雄） 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治九年九月第百十七號布告違式詿違條例第三條中無力ノ者ノ下（及ヒ贖金ヲ出スヿヲ肯セサル者）ノ十四字ヲ增加候條此旨布告候事

○議長 發議ナキヲ以テ本案ヲ可トスルモノハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長 全會一致本案ヲ可ト決ス仍テ引續キ第三讀會ヲ開カントス同意者ハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長 全會一致ニ由リ直ニ第三讀會ヲ開ク可シ然ルニ第二讀會ニ至ルモ尚一ノ修正説アルヲ聽カス故ニ便法ヲ用ヒ書記官ノ朗讀ヲ省ク可シ

○議長　發議ナキヲ以テ決ヲ取ラントス本案ニ同意者ハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長　全會一致本案ニ可決セリ乃チ例ニ遵ヒ上奏セン散會ス可シ

午前第十時三十分閉場

元老院會議筆記明治十一年五月九日

○第百號議按違式詿違條例第三條中増加ノ儀布告案第一讀會第九十九號議案撿視會後之ヲ開ク

議長熾仁親王

出席議官

一番　津田眞道
四番　大久保一翁
五番　細川潤次郎
六番　柳原前光
七番　佐野常民
九番　河野敏鎌
十番　東久世通禧

十一番　黒田清綱
十四番　水本成美
十七番　山田顯義
十八番　楠田英世
十九番　陸奥宗光
二十番　齋藤利行
廿三番　宍戸璣
廿四番　津田出

○議長　第百號議案ノ第一讀會ヲ開ク例ニ依テ討論ス可シ

○書記官本田親雄　左ノ按ヲ朗讀ス

布告按

明治九年九月第百十七號布告違式詿違條例第三條中無力ノ者ノ下（及ヒ贖金ヲ出スヿヲ肯セサル者）ノ十四字ヲ增加候條此旨布告候事

○九番河野敏鎌　斯增加ハ實ニ已ムヲ得サルニ出ル者ナリ何トナレハ違警罪犯ノ徒動モスレハ贖金ヲ出スヿヲ肯セサル者アリ然ルニ强テ之ヲ出サシメントスレハ巡査ヲシテ其家ニ至リ以テ貲力ノ有無ヲ實驗セシメサルヲ得ス此ノ如キハ其事犯宛モ盜罪ノ處分ニ近キモノアルヲ以テナリ然ルニ若シ此法ナクンハ社會ノ安寧ヲ害スル素ヨリ假恕スヘカラス乃チ已ムヲ得ス實決セサルヲ得サルモノトス惟フニ已ニ此法ヲ頒布セハ彼强情者モ亦自カラ跡ヲ社會ニ絶ツニ至ラン

○六番柳原前光　九番ニ同意ナリ抑モ違式詿違ノ條例ハ凡テ贖罪法ナリ

ト雖モ無資力者ニ至テハ亦如何トモ處スルニ道ナシ故ニ第百十七號ノ布告モ亦已ムヲ得サル所ナリ然レ𪜈尚ホ贖金ヲ出サヽル者ノ處分ニ欠ル所アリ今此增加ヲ得テ初メテ全備セルカ如シ依テ之ヲ賛成ス

○議長　他ニ發議ナキヲ以テ第一讀會ハ爰ニ畢ル可シ

○十九番陸奥宗光　引續第二讀會ヲ開カレンヿヲ建議ス

○五番細川潤次郎　賛成

○議長　十九番ノ建議ニ同意者ハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長　全會一致ニ依リ引續キ第二讀會ヲ開ク可シ

○書記官本田親雄　左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治九年九月第百十七號布告違式詿違條例第三條中無力ノ者ノ下（及ヒ贖金ヲ出スヿヲ肯セサル者）ノ十四字ヲ增加候條此旨布告候事

○議長　發議ナキヲ以テ本案ヲ可トスルモノハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長　全會一致本案ヲ可ト決ス仍テ引續キ第三讀會ヲ開カントス同意者ハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長　全會一致ニ由リ直ニ第三讀會ヲ開ク可シ然ルニ第二讀會ニ至ルモ尚一ノ修正說アルヲ聽カス故ニ便法ヲ用ヒ書記官ノ朗讀ヲ省ク可シ

○議長曰發議ナキヲ以テ決ヲ取ラントス本案ニ同意者ハ起立ス可シ

全員悉起立

○議長曰全會一致本案ニ可決セリ乃チ例ニ遵ヒ上奏セン散會ス可シ

午前第十時三十分閉場

元老院會議筆記明治十一年五月十五日

○第百一號議案地方官會議ニ於テ議定セシ第一號第二號第三號議案　第一号第二讀會

議長有栖川熾仁

出席議官

一番	津田眞道
四番	大久保一翁
五番	細川潤次郎
七番	佐野常民
八番	山口尙芳
十番	東久世通禧
十一番	黑田清綱

十二番　秋月種樹
十四番　水本成美
十五番　福羽美靜
十七番　山田顯義
十九番　陸奥宗光
二十番　齋藤利行
廿二番　中島信行
廿三番　宍戸璣
廿四番　津田出
廿五番　岩下方平
内閣委員番外一番　太政官大書記官松田道之

○議長ハ第百一號議案即チ地方官會議ニ於テ議定セシ所ノ第一號議案ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ演述ス
○書記官戸田秋成左ノ條々ヲ朗讀ス

第一號議案

第一條　地方從前ノ區畫ヲ廢シ府縣ノ下郡町村トス
第二條　郡町村ノ區域名稱ハ都テ舊ニ依ル但シ其經界錯雜シ又ハ郡ノ區域兩府縣ニ跨リ或ハ地形ノ不便ナル者ヲ組替フルハ此限ニ在ラス
第三條　一郡ノ區域廣濶ニ過キ施政ニ不便ナル者ハ一郡ヲ畫シテ某部某部東部西部南部北部中部ト云カ如シトナス
第四條　毎郡ニ郡長各一人ヲ置キ其郡ヲ割テ數部トナス者ハ毎

部一人ヲ置ク郡ノ最狹少ナルモノハ數郡ニ一人ヲ置クヿヲ得

第五條　東西京大坂幷其他人民輻輳ノ地ハ郡制ニ拘ラス別ニ一區トナシ區長ヲ置ク其廣濶ナル者ハ區分シテ若干區トナシ各々區長ヲ置ク

第六條　毎町村ニ總代トシテ戶長一人ヲ置ク又數個町村ニ戶長一人ヲ置クヿヲ得

○番外一番松田道之　地方ノ區畫ハ政治上ニ必用ノモノナレハ一新ノ際其制ヲ設クト雖一般ノ行政ノ便益ニ關セスシテ專ラ戶籍上ノ便益ヲ主トセリ故ニ今日ヨリ之ヲ視ルキハ往々不都合ナル者アリテ改正セサルヘカラサルナリ然レモ改正スルモ其機會ヲ得サレハ着手スヘカラス卽チ今日ハ其機會ニ際セリト謂フヘキナリ其機會ハ一新

ノ際ハ專ラ戶籍上ノ便益ヲ謀リシモノナレハ今日一般ノ行政上ノ便益ヲ謀ラント欲セハ現今ノ區畫ノ制ニテハ過半以上ノ改正ヲ要ス因テ寧ロ改正ニ着手スルナラハ草創ノ際設ケシ所ノ不都合ナル制度ヲ廢シテ郡町村ノ舊ニ復スルニ若カスト謂フ是其原因ナリ其郡町村ニ復スルヲ是トスルノ原因ハ郡町村ハ數百年來ノ慣習ナレハ其慣習ニ復スルニ若カスト謂フニ在ルナリ一新ノ際ハ郡町村ニ拘ハラス區畫ヲ分チタレト區畫ト郡村町ノ制ハ政治ニモ民俗ニモ全ク之ヲ廢セスシテ兩立ノ姿ナリ故ニ此改正ノ要點ハ政治ノ便益ヲ謀リ人民ノ慣習ヲ存スルニアルナリト

○五番細川潤次郎　大旨否ナリ本案第一號第一條ニ云フ郡町村ノ稱ハ舊ニ依ルト本官ハ現今ノ區畫ヲ据置クトモ行政上ノ不便ヲ見ズトス

之ヲ外國ノ例ニ監ムルニ行政區アリ收稅區アリ宗教區アリ徵兵區アリ各々其目的ニ隨テ自在ノ便ヲ計リ其他ノ事項ニ關涉セズ故ニ毫末ノ不便ヲ生ゼザルナリ我現時ノ區畫ヲシテ眞ニ行政區ニ止メシメバ亦此ノ如クナランノミ且區畫ヲ改正シテ郡制ヲ復スルモ費用ヲ要セザレハ可ナリト雖是レ決シテ能ワザル所ナルベシ若夫レ之レ維新以後現今ノ區畫ヲ置ザル前ニ於テ行フハ可ナリト雖今稍區畫ノ制度ニ慣ルヽノ時ニ及ンデ改正スルハ人民腦裏ノ混雜ト其會計上ノ困難ヲ招カントス且郡長ヲ置クハ今日ノ制度ニ於テ無用ニ似タリ夫ノ佛國ノ如キハ州長アリ郡長アリ邑長アリテ各々其議會ヲ統ルノ職アリト雖我國ニ於テハ縣會有テ郡會ナシ故ニ之ヲ置クヲ要セズ而シテ歸スル所ハ地方稅ヲ多ク費ヤスニ在テ其職ハ取

繼ギ役ニ過ザルベシ故ニ郡制ヲ立テ郡長ヲ置クヲ否トセザルヲ得ズ

○十九番（陸奧宗光）　原案ノ大意ハ可トス然レトモ委員ノ說明セシ如キ大利益アル點ヲ見ス這般下附セラレタル三號ノ議案中ニ於テ輕々タルコト思考セリ郡長ノ職任ヲ重クスト云フモ其名稱ヲ改ムルニ及バズ現今區長ノ給料ヲ增スモ亦同樣ノ結果ヲ得ベシ又說明書ニ一町村ハ一個人ノ權利ヲ備フル者ナレハ戶長ハ民ニ屬シテ官ニ屬セストアレドモ必ス一家一室ノ如キモノニ非ス一村ノ利害モ一郡ノ利害モ同一般ナリ人民輻輳スレハ從テ其利害モ亦異ナリ然レハ則チ戶長ハ單ニ人民ニ屬ス可ラス官民ノ間ニ立テ用ヲ爲スモノナリ如此論シ來レハ原案ヲ否トスルカ否然ラス是迄分合ノアル每ニ人

民其方向ニ迷ヒ財産上ニモ多少影響ヲ來ス故ニ之ヲ一定シテ不動者トナス可シ固ヨリ天然動カス可ラサルモノニ非スシテ人爲上ニアル者ナリト雖𪜈西人ノ語ニモ古キモノヲ天然ト云フ如ク從來ノ區ニ比スレハ郡ハ稍天然ニ近シトス故ニ法律上ニテ確定セシ者ハ輕易ニ行政官ガ分合スルヿヲ得サルヲ可トス本官ハ第二讀會ヲ竢テ修正案ヲ提出セントス

○八番（山口尙芳）本議案ニ於テ本官之ニ惑フ請フ之ヲ委員ニ問ハン説明ニ云（戸籍調査ノ爲メニ設ケタル云々）本ト人民アリテ而シテ相往來ス仍テ之ヲ記籍スルハ即チ行政上ノ一部ニシテ之ヲ爲スニ便ナルハ即チ行政ノ便ニアラスヤ然ルニ説明ニ云（行政ノ便ヲ謀ルモノニアラス）而シテ又云（地方ノ料理スル所ロニ任セ云々）其任セタル權ヲ

掣スル而已ナラハ稱呼ヲ變スルニ及ハス又費用ヲ要セサルナリ且夫目今ノ區劃ニシテ政治ヲ施ス可カラサルニ非サルナリ若之ヲ改正セハ必ラス人民ノ騒擾心ヲ起サシム可キナリ果シテ現今ノ不便アラハ之ヲ分合シ又ハ稱呼ヲ改メテ止ムヘシ説明ニ云（費用ヲ節ス）抑モ費用ヲ節スルト否トハ計算ノ記載ニ就テ其差違ヲ知リ而シテ論ヲ發スヘキナリ然ルニ今其計算ナキヲ以テ其差違ヲ見ル能ハス要之所謂説明ナルモノハ本議案ノ反對ニアラスヤ更ニ疑フ所ロアリ地租改正ニ於テハ其費用ニ付テ大ニ人民ノ騒擾心ヲ喚起ス可シ然ルニ如シ本議案ノ如ク施行スルニ至テハ其費用ノ大ナルヲ以テ更ニ騒擾心ヲ增加ス可シ

○番外一番（松田道之）只今八番ニ於テ疑團ヲ抱クトアレト從前地方ノ區

畫ハ行政ノ便ヲ顧ミスシテ立テシモノニ非ス幾分カ其便益ヲ計ルモノナレト專ラ戸籍調査ノ爲ニ設ケタルモノナリ其戸籍ト云フモノハ人民ノ身上ノヿニ關スルモノニシテ行政ノ區畫ハ山川地理ヨリ其他百般ノヿニモ關渉スヘキ者ナレハ專ラ戸籍ノミニ關スルモノニ非サルナリ且八番ニ於テ區畫ノ改正ハ地方官ト内務省トノ相談ニテ事整フモノナリト陳述セラレシカ元來地方ノ區畫ハ法律ヲ以テ定ムヘキナリ一新ノ際ハ百度緒ニ就カサルヲ以テ行政ノ施設上ニ委任セシカトモ明治十一年ノ今日ニ至テハ一新ノ際ト同視スヘカラス即チ此議案モ此元老院ヘ議定ニ付セラル所以ナリ且地租改正ノヿニ差響キヲ生スルモ計ルヘカラスト陳述セラルレト少シモ關係セサルナリ地租ナル者ハ一人一個ヨリ徵収スルモノナレハ

只今迄ノ區畫ニモセヨ又郡町村ノ舊ニ復スルニモセヨ其收納ニ少シモ差異ヲ生セス勿論其取立ノ仕方ニ至テハ大區或ハ小區ニテ取立テシモノヲ一郡或ハ一村ニテ取立ル位ノ變化ハ生セン併費用等ニハ少シモ關係セサルナリ且是迄ノ區畫ヲ郡町村ノ制ニ復スルニ付テハ多少ノ費用ヲ釀スト云ヘトモ一時ノ費用ト永久ノ費用トノ比較ヲ以テ論ヲ立テサルヘカラス其事ハ第三號ニ至ラサレハ之ヲ弁スルヿヲ得サルナリ今大區ノ數ヲ擧レハ九百零七區小區ノ數ヲ擧レハ七千六百九十九區ナリ郡ノ數ハ七百十七郡ナリ先此大區ヲ以テ一郡ト見ルモ現ニ七千六百九十九小區ヲ減スルナリ且現今ノ町村ニ用掛アリ其上ニ戸長アリ其上ニ區長アリテ甚シキ費用ヲ要ス本案ノ如ク改正スルトキハ勿論郡長ノ權限モ極ル譯ナレハ大ニ浪費

ヲ省クト謂フヘシト

○七番佐野常民　本案ノ大旨ヲ可トス何ントナレバ舊時ノ慣習ヲ復シ其人民ヲシテ自然地方ノ便宜ヲ得セシメ互ニ利害ノ感情ヲ等シクセシムレバナリ人民ノ舊慣ヲ便トスルハ現ニ其日常ノ事項ニ於テハ郡町村ノ名稱ヲ用ヰルヲ以テ徴スベシ蓋シ維新以後ニ於テハ全國ノ統一ヲ主トスルヲ以テ政府舊態ヲ一掃スルニ汲々タリシガ如シト雖今日ヨリ之ヲ見レバ地方ノ舊慣ヲ破ルハ良計ニアラス故ニ今之ヲ改正シテ舊慣ニ復セントスルハ最モ可ナリトス但郡ヲ以テ行政區畫ノ終極トスルハ同意シ難キ者アリト雖其議ノ如キハ之ヲ第二讀會ニ讓リ本案ノ大旨ヲ可トスル所以ヲ陳述スル此ノ如シ

○八番山口尚芳　委員ノ答辯ニ汎クト云フ字ニ意義ヲ包含シタリトノ說

ニハ甘服スルヿ能ス地方制度ノ改正ハ一大事業ナリ從前ノ區制モ既ニ現今迄實歷シタレハ其利害得失モ亦タ炳然トシテ明了ナルヘシ然ルニ本案ノ要點ハ徒ラニ人民ノ言慣レタルニ復スルニ過ス這ノ些々タルヿニテ許多費用ヲ消耗スル不可ナリ委員答辯本官ニ透徹セス故ニ本官ハ大修正ヲ加ヱント欲ス本案ノ大意ハ稍ヤ可ナリ

○番外一番松田道之　五番八番ノ論ノ要點ニ於テ聊カ陳述スル所ロアラントス五番八番ノ論點此議案ハ決シテ利益ナシト云フニ過キス五番ノ論ニ裁判區アリ某ノ區アリ某ノ區アリ必ラスシモ改正ヲ要セスト蓋シ其中ニ行政區モ亦含蓄ス目下裁判區ハ行政區ト異ナリ又從前收稅區モ亦行政區ト異ナリ元ト之ヲ裁判區收稅區ト稱スルニ非ス自然ノ沿革ニ基クモノナリ收稅區ノ如キハ山川ノ形勢ニ因テ

之ヲ爲スモノニシテ即チ從來ノ郡區ヲ以テ之ヲ爲ス實ニ其便益ナルヲ見ル抑々理窟ヲ以テ原案ヲ破毀セント欲セハ何ノ論說カ之レ爲ス可カラサラン如シ經歷ヲ以テ之ヲ論セハ數百千年ノ習慣ト僅々十年間ノ習慣トヲ比較シテ其十年間ノ習慣ハ之ヲ捨ツ可キナリ又原案ハ佛國ノ制ニ似タリト雖𪜈郡長ハ佛國ノ如ク事務ヲ遞傳スルニ止マルモノニ非ス即チ事務執行ノ權ヲ付與スルモノナリ但シ郡會ハナシ其郡會ナキヲ以テ郡長ヲ要セスト爲サハ目今縣會ナキノ縣ハ縣令ヲ要セサルカ如シ豈可ナランヤ郡長ニ事務執行ノ實力アルヲ以テ必ス之ヲ置サル可カラス八番ノ論ニ小區ハ數町村ヲ合セテ小區ト爲スモノアリ今其小區ヲ廢スルトキハ更ニ小區ノ如キモノヲ置サルヲ得スト此決シテ否ラス今小區ヲ解クモ町村ノ舊名

ハ依然トシテ存スルモノナリ又五番ノ論ニ衆戶長ヲ置クトキハ必ラス之ニ費用ヲ要スルナリト云フモ否ラス之カ爲ニ戶長ノ數ヲ增加スルニ非ス何トナレハ本案ニ依テ設クル所ノ戶長ノ位置ニ目今用掛アリテ町村ノ事務ヲ辨セリ改正以後ニ至レハ其用掛ノ事務ハ即チ戶長ノ事務ニ歸ス故ニ其數ヲ增加スルニハアラサルナリ

○二十番（齋藤利行） 本案ノ大意ヲ可トス現今ノ制度ニ大小區畫アリト雖實際ニ於テ現ニ郡町村ノ名稱ヲ用井唯名稱ヲ用井ルノミナラズ人民ノ關係又郡町村ヲ畫シテ其內ニ行ワル是レ其舊慣ノ現存シテ人民又之ヲ便トスルニアラズヤ例ヘバ村町郡ノ事ヲ相談スルニ於テハ其區內人民ノ共議ニアラズシテ其村人町人郡人ノ共議ニ成ルガ如キ即チ是レナリ或ル議官ハ其儘ニシテ行政區畫ト別看シ現時ノ

制度ヲ据置ク可シトノ說アリト雖既ニ人民ノ舊制ヲ便トスルヲ見レバ之ヲ一定シテ併セテ行政區トスルニ如ズトス故ニ本案ノ大意ヲ可トス

○二十二番中島信行 各議官ノ討議ヲ經テ一讀會ノ終ラントスル時ニ及ベリ乃チ本官ノ此議案ノ大旨ヲ可トスル所以ノ意ヲ畧陳セントス其理由ハ畧七番ノ說ニ同シ抑維新ノ後區畫ノ制ヲ設テ之ヲ全國ニ布クト雖モ實際其不便ニ堪ヘザルヲ以テ各縣地方之ヲ改正シテ已ム時ナキガ如シ本官ハ改正ヲ事トシテ人民ノ腦裏ヲ亂ルヲ好マズト雖モ實際ニ於テ各地方ニ區畫ノ變更絶ヘザルヨリ之ヲ郡制ノ舊ニ復シ一時ノ改正ヲ以テ永ク後來ノ變更ヲ絶ツニ如カズトス且地方區畫ノ制度ノ如キハ國家ノ重件タルヲ以テ國法トシテ本院ノ議

定ニ一決シ以テ後來ノ定制トセント欲ス故ニ本案ノ大旨ヲ可トス

○議長各議官ノ討論畢リタルヲ見テ第一讀會ハ是ニテ訖ルノ旨ヲ述ヘ散會セシム

正午二十分過

元老院會議筆記明治十一年五月二十四日

○第百一號議案地方官會議ニ於テ議定セシ第一號第二號第三號議案 第一號第二讀會

議長 有栖川熾仁

出席議官

一番 津田 眞道

四番 大久保一翁

五番 細川潤次郎

六番 柳原 前光

七番 佐野 常民

八番 山口 尚芳

九番 河野 敏鎌

十番　東久世通禧
十二番　秋月種樹
十三番　前島密
十四番　水本成美
十五番　福羽美靜
十六番　大給恒
十七番　山田顯義
十九番　陸奥宗光
二十一番　田中不二麿
二十二番　中島信行
二十三番　宍戸璣

二十四番　津田出
二十五番　岩下方平
内閣委員番外一番　太政官大書記官松田道之

午前第十時開場

○議長　第百一號議案即地方官會議ニ付セラレタル第一號議案第二讀會ヲ開ク旨ヲ告ク

○七番(佐野常民)　議案朗讀ノ外ニ於テ建議スル所アラントス本官ノ見ル所ロニ於テハ第一號ノ第一條ヨリ第六條マテハ地方ノ區畫ヲ改正スヘキヤ否ヤトノ問題ニ過キス而メ六條亦連絡シテ一條ナルモノヽ如シ然ヲハ此六條ヲ通讀シ其大意ノ可否ヲ議シテ後逐條討論スルヲ可ナリトス

○五番細川潤次郎　本官ハ第一號議案ヲ否ト爲シタリ今之ヲ續論セントスルニハ先ヅ大意ヲ論ゼザルベカラズ仍テ此議ヲ贊成ス

○十五番福羽美靜　贊成ス

○議長　同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十八人

○議長　同意者多キ旨ヲ告ク

○書記官戸田秋成　左ノ全案ヲ通讀ス

今般地方從前ノ區畫ヲ廢シ更ニ郡區町村編制法被定候條此旨布告候事

郡區町村編制法

第一條　地方ヲ畫シテ府縣ノ下郡區町村トス

第二條　郡町村ノ區域名稱ハ總テ舊ニ依ル

但郡ノ區域名稱ヲ變更シ或ハ大郡ヲ分割シテ數郡東西南北上中下某郡ト云カ如シトナサヽルヲ得サル時ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　三府五港其他人民輻湊ノ地ハ郡制ニ拘ハラス別ニ一區トナシ其廣濶ナル者ハ區分シテ數區トナスヿヲ得

但其區域名稱ヲ定メ及之ヲ變更セサルヲ得サル時ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　毎郡ニ郡長各一員ヲ置キ毎區ニ區長各一員ヲ置ク郡ノ狹少ナルモノハ數郡ニ一人ヲ置クヿヲ得

第五條　毎町村ニ戸長各一員ヲ置ク又數個町村ニ戸長一員ヲ置クヿヲ得

○五番細川潤次郎　本日ニ至ルマテ再三再四商量ヲ費ヤスト雖圧終ニ改正セサルヲ得サルノ説ヲ發見セス其意ハ既ニ議ヲ盡セルヲ以テ更ニ喋々ヲ須ヒスト雖圧當初議場ニ出席セザル人モアレバ今簡單ニ之ヲ陳スヘシ其大意ハ改正ヲ爲サヽルヲ得サルニ於テハ之ヲ爲スヘシト雖圧今日ハ其改正ヲ爲ザルヲ得ザルノ理ナシ何トナレハ何郡ト云フハ何大區ト云フヨリモ人民ノ記臆ニ於テ便ナル可シト謂フハ當初區畫ノ制ヲ立テント欲スル時ニ際シ論スヘキ者ニシテ今日ノ言ニ非サルヘシ且今日ニ至リテハ何大小區ノ稱ニ於テ障碍アルヲ見ス其障碍アリトスル所以ヲ聞ケハ各府縣區々ノ方法ナリト

云フニ過キス是レ其方法ノ目的ヲ達セサルヲ以テ然ルナリ然ラハ其目的ヲ達セサルノ過チニシテ大小區制度ノ過チニハアラサルナリ且區畫ノ制度ハ幾方面抔ト名ヲ下スニモ便利ナル者ナレハ惟行政上ノ區畫ト爲スモ別ニ障碍ナシ警察區學校區等ニ分ツノ例ハ外國ニモ歴々之アレハ區畫モ亦此ノ如シト爲ストキハ別ニ改正ヲ要セサルナリ如シ今日之ヲ改正セハ明日復タ之ヲ改正セサルヲ保スル能ハス然ラハ只其區々ノ制度ヲ畫一ニ皈セシムヘキノミ若シ夫レ郡ノ稱ハ人民日常既ニ用ユルモノアリ郵便ノ所書等是ナリ然ラハ法律上ニ於テ大小區ヲ用ユルモ日用ノ便ヲ妨ケス然ラハ郡町村ヲ更ニ力ヲ加ヘテ用ヒサルヲ得サルノ理ナシ決シテ紛々變更ヲ要セサル可シ又郡長ヲ置カントス是新設ナリ若シ郡長ハ區長ニ同シ

ト云ハ、從來ノ區長ニテ可ナリ若シ又府縣廳ハ一ヶ所ナレハ郡長ヲ置キ之ニ事務執行ノ權限ヲ與ヘ人民ヲシテ山川跋渉ノ勞ヲ省カシムト云ハ、支廳ヲ置テ可ナリ或ハ區長ノ權限ヲ擴メテ可ナリ郡長ハ事務ノ遞傳ニ過キス決シテ新設スルヲ要セサルナリ特ニ之ヲ要セサルノミナラス却テ人民ノ煩ヲ生セン其故ハ今新タニ郡長ヲ置トキハ其給料ナカルヘカラス又其使令ニ供スル吏胥ナカルヘカラス又夫等ノ者ノ坐スル所ノ廳ナカルヘカラズ名ハ費用ヲ減スト雖其實ハ之ヲ增スナリ仍テ從來ノ區長ヲ用ヒ其權限ヲ增加シテ足レリトス町村ト爲スカ如キハ力ヲ費ヤスニ非スト雖トモ此亦多少ノ費用ヲ要スヘシ其費用ハ矢張人民之ヲ出サヽルヲ得ス彼印形提灯ノ如キ其他改正ヲ要スルモノ數多ナルヘシ一所ヲ以テ之ヲ計ヲハ僅

少ナルモ全國ヲ以テ之ヲ計ヲハ許多ナルヘシ然ヲハ立法上ヨリモ政治上ヨリモ共ニ此改正ノ緊要的ヲ見サルナリト

○八番（山口尙芳） 本案ヲ論スルニ連帶シテ論スルトキハ混雜スヘキヲ以テ逐條之ヲ論スヘシ過日委員ヨリ出セシ報告書アリ其書ニ郡區町村編成法トアリ之ニ對シテ不同意ナリ（説未完）

○十九番（陸奥宗光） 呼テ曰ク無用ト

○議長 其理ヲ陳述セシム

○十九番（陸奥宗光） 本案ヲ連帶シテ討論スルヿハ會議ノ既ニ許ス所タリ然ルニ八番ハ逐條之ヲ論ス可シト述ヘ之ニ加フルニ五番ノ論説ハ

○議長 未タ之ヲ問題ニ付セス然ルニ八番ハ直チニ修正案ノ可否ニ論及セリ其論ノ可否ハ未タ聞カサルヲ以テ知ルヘカラスト雖トモ右ノ

理由ナルヲ以テ八番ノ發言ハ無用ナリト
○一番（津田眞道） 五番ノ所見ニ同シ故ニ贊成スト
○議長 五番ノ動議ヲ以テ問題トス
○十三番（前島密） 五番ハ第一號ヲ無用トセリ其説明ニヨレハ好ンテ變更スヘカラスト理アルナリ然レ𪜈實際ノ如何ヲ商量セサルヘカラス其理ハ説明書ノ如ク各地方區制異同アルヲ以テ之ヲ畫一ニ皈セシメント欲セハ郡制ニ復スルト同一ノ煩勞ナリ而シテ從來ノ弊タル新令尹ハ必ス舊令尹ノ政ヲ變スルノ風アリ其モ亦此改正ヲ要スルノ原因ナリ然レ𪜈區畫ノ制タル人民稍習熟スルヲ以テ今俄然トメ郡町村ト爲ストキハ一時其耳目ヲ駭カスカ如シト雖彼ハ一時ニシテ此ハ將來ノ便益ヲ謀ルカ爲ナレハ亦以テ憂フルニ足ヲサルノミ

彼學校區警察區等ノ如キハ各其事ノミニ關スルモノナレハ敢テ不便ヲ見スト雖行政區ノ如キハ財産戸籍等ヨリ其他百端ノ事ニ關シテ日ニ之ヲ用ヒサルヲ得サル者ナリ然ルニ古來慣用スル所ノ者ヲ捨テ一新以后僅ニ慣ルヽ所ノ者ヲ强用セシメント欲ス甚不便ヲ與フル者ト謂フヘシ然ラハ一時人ノ耳目ヲ駭カスト雖モ古來通用スル所ノ郡町村ト爲スノ便利ナルニ若カス况ンヤ現今ノ大區ハ大抵郡ヲ以テ其區畫トナシタル者ナルオヤ又今日實際ニ郡名ヲ用ユルヿアリ然ラハ耳目ヲ駭カスノ言ハ或ハ過慮ニ屬セン其印形提灯等ヲ改正スルニ多少ノ費用ヲ要スヘキハ固ヨリ當ニ然ルヘシト雖到底從來ノ區畫ハ依然トシテ存スヘカラサル者ナレハ假令從前ノ區ヲ置クモ亦改正ヲ爲サヽルヘカラス然ラハ其費用ハ郡制ニ復セサ

ルモ亦之ヲ要スルナリ旁以テ古來通用スル所ノ郡ニ復シ大ニ將來ノ便利ヲ謀ルニ若カスト

記者曰此間議事ノ方法ニ付七番議官佐野常民ト十九番議官陸奥宗光ト數回ノ討論アリト雖議案ノ理趣ニ關係セサルヲ以テ之ヲ錄セス

○十五番福羽美靜 第一號議案ヲ五番ニテ論シタルハ紛々變更ヲ爲スヘカラスト云フニ在ルナリ如何ニモ其通ニテ紛々變更ハ宜シカラサルヿナリ元來此改正ヲ要スル所以ノ者ハ維新後人民ノ慣習ヲモ顧ミス輕忽ニ區制ヲ施セシニ由ル直言スレハ政府ノ失錯ト謂フヘシ過ツテ改ムルハ美德ナリト雖モ改正スレハ費用忽チ之ニ隨フ其費用ハ人民之ヲ支辨セサルヘカラス官民ノ間ナルカ故ニ彼默メ之ヲ出ス者ノ人民相互ナラハ相當ノ償金ヲ要スヘキ者ナリ又其費用ハ

些少ナルヘシト雖貧民ニ取リテハ其苦難幾何計ツヤ又前官後官頻頻之ヲ改ムト云フ此レハ後來ニ禁ズレバ可ナリ且十三番ノ說ニ現今ノ大區ハ大抵郡ノ區畫ニヨルト云ヘリ然ラバ區既ニ郡ニ同シ豈殊更ニ之ヲ改ムルヲ要センヤ故ニ一時ノ補理ハ之ヲ加フヘクシテ大ナル改正ハ爲スヘカラス其補理ヲ加フルモ人民之ヲ便利ナリトセハ補理ヲ加ヘテ其費用ヲ出サシムヘク若シ便利ナラズトセハ費用ヲ出サシムヘカラス亦補理ヲ加フヘカラス其他ハ法律ヲ以テ以來ハ決シテ改正スヘカラスト定ムルヲ可トス仍テ本官ハ五番ノ說ノ如ク本案ヲ廢棄セント欲スト

○番外一番松田道之 五番ノ發議ニ一二ノ贊成者アリ先本案ノ佳處ヲ述テ而シテ后ニ廢棄ノ論ニ對シテ駁議ヲ發スル筈ナレト本案ノ佳處ハ

十三番既ニ之ヲ盡シ且第一讀會ニ於テ陳述シタレハ最早緊要ニ非スト思考ス抑各議官ニ於テ偏ニ本案ヲ廢弃セントスル一點ニ傾テ論ヲ立ツレハ格別ナリト雖左樣ナル思考ニハ非サルヘシ然ルトキハ愈論旨ノ所在ヲ繹ヌルニ苦ム其論ニ云區制ノ實ヲ擧ケサルカ故ナリト賛成者モ亦云補理スヘシト是二ツナカラ實際ヲ見サルモノナリ何トナレハ實ヲ擧ルモ補理スルモ一時塞責ノ意ニハ非サルヘシ其故ハ法律ヲ以テ將來ヲ抑制スト云ヘハナリ果シテ然ラハ實ヲ擧ルモ補理スルモ其手數ニ至テハ這回改正ノ手數ト何ソ擇ハン是解スヘカラサルノ説ト謂フヘシ又十五番ハ十三番ノ大區ハ郡ニ依ルモノ多シト云シニ對シテ然ラハ尚ホ改正スルヲ要セスト駁シタリ此度ノ改正ハ大區ノミニ非ス大小區ヲ惣テ改正スルナリ十五番

ノ説ノ如キハ大區ノミニ關シテ小區ニハ關セサルナリ然ルニ小區亦改正ニ急要ナル者アリ現今ノ制ニテハ一地方ニ四ノ「ステーシヨン」アルカ如シ故ニ郡町村ノ制ニ復スルトキハ無用ノ役場ヲ除キ隨テ費用ヲ節減シ大ニ後來ノ便利ト爲ルナリ故ニ若シ議者ノ説ノ如ク此儘ニテ据ヘ置クトキハ一歩モ進ムヿヲ得ス成程紛々變更ヲ好マサルハ賞スヘキヿナレ𪜈一歩モ進ムヘカラサルヿヲ既ニ爲セシヿハ改ムヘカラスト云テ其儘差置クハ抛弃ニ付スルニ異ナラサルナリ此ノ如ク論究スルトキハ本案ヲ廢棄セントスルノ説ハ人ノ耳目ヲ駭カスト費用ヲ要スルトノ二事ニ過キサルヘシ然ルニ此改正ハ數百年ノ後ニ至ルマテ改メサルヘキ者ナレハ一時ノ費用ヲ要スト雖將來年々ノ費用ニ比スレハ其得失如何ソヤ又此費用ハ利益ナクシ

テ損失ナリトノ説アレト損失トハ水火ニ投スル如キヲ云フ即チ浪費ナリ此費用ハ後來ノ費用ヲ省ク爲ナレハ決シテ損失ニアラサルナリ又廢棄ノ議者ハ郡長ヲ要セス事務遞傳ニ過キス支廳ヲ置ヲ可トスト云ヘリ夫ノ支廳コソ遞傳ニ過キサレバ人民ニ便益ヲ與フルト謂フヘカラス郡長ハ執行ノ權ヲ與フル譯ナレハ支廳ノ屬官ト同視スヘカラス此等ノ目的ヨリ考案ヲ立ルトキハ紛々變更ニ非サルハ知ルヘキナリト

○十七番（山田顯義） 改正ヲ爲シテ若シ大イニ利益アラハ費用ヲ要スルモ之ヲ爲スヘシト雖𪜈決シテ其利益ヲ見ス又事務遞傳ノ數少ナクシテ便益ナリト云フトモ官ノ便益ニシテ人民ハ即チ從前十里ヲ行キタルハ更ニ十里ヲ行キ合セテ二十里ヲ行カザルヲ得ス只其不便利

ヲ見テ未タ便利ヲ見ス仍テ五番ノ説ト同樣ナリ然レ𪜈大小區ノ割合ニ不都合ナル場所アラハ其レノミ改正シテ其他ハ据ヘ置テ可ナリト

○七番（佐野常民） 本官ハ第一讀會ニ於テ大意ヲ可トシ修正シテ第二讀會ニ付スルニ同意シタリ更ニ第一讀會ノ餘論ヲ述ヘントス五番ノ説ノ如キハ實ニ理アリ費用ヲ出シテ利益ナキハ人民ノ大苦難トナラン維新ノ際從來ノ慣習ヲ破リ而シテ今日ニ至リ突然古來ノ制ニ復シ其費用ハ汝等之ヲ支弁セヨト云フハ實ニ傷ムヘキヿナリ故ニ理論ニ於テハ爲スヘカラサル者ト雖然レ𪜈實際ヨリ之ヲ見レハ亦止ムヲ得サル者アリテ存スルナリ且第二號議案ノ精神ニ於テハ會議ヲ以テ費用ノ多少ヲ論究スルノ權ヲ付セラレ即チ人民ニ參政權

ヲ付與スルノ端ニシテ其精神ノ及ブ所ハ單ニ府縣會ニ止ラズ之ヲ外國ニ例セハ州會アリ邑會アリ府縣會ハ即チ州會ト見ルヘシ郡ニハ共有ノ財産ナケレ圧町村ニハ必ス共有ノ財産アリ此レ外國モ同シ然ラハ其邑會ニ當ル所ノ者モ往々之ヲ與サヽルヘカラス政府ノ既ニ之ヲ認メタルノ証ハ明治八年ニ町村會ノ規則ヲ一旦本院ノ會議ニ付セシヲ以テ知ルヘキナリ此度府縣會ノミヲ掲ケタルハ政治ノ順序ニ依ルナルヘシ右ノ如ク往々町村會モ與ルトスレハ今ノ大小區ノ制ハ其目的ヲ以テ爲シタル者ニアラサレハ他日必ス障碍アルヘシ仍テ此般郡町村ノ舊ニ復シ他日町村會設立ノ地ヲ成サハ大ニ後來ノ便利ナラスヤ蓋シ紛々變更ト費用多端ノ二ツニ於テハ人民ニ對シ慚ル所ナキニ非スト雖人民ノ協議ニヨリテ公共ノ事ヲ爲

スノ目的ヲ立テ從來慣習ノ郡町村ニ復スルノ便益ヲ與フル者ナレハ此一時ノ改正ハ止ムヲ得サル者ト認メサルヘカラサルナリト

○議長　時既ニ正午ニ際スルヲ以テ午後引續キノ會ヲ開ク旨ヲ演説シ一旦散會セシム

午後第一時

欠席議官

一番　津田眞道

十四番　水本成美

十六番　大給恒

○議長　午前引續キノ會議ノ旨ヲ告ク

○十五番（福羽美静）午前ニ於テ番外一番ノ駁議アリシヲ以テ聊カ之ヲ陳

セントス抑々明治十一年ハ維新以來既ニ十年ヲ經レハ百度皆修正補理ヲ加フヘキニ容易ニ變更ヲ爲シ我カ失策ヲ失策ト爲サスシテ其損害ヲ人民ニ課スルハ謂レナキヿナリ爾ノミナラス郡制ニ復スルトキハ人民ノ感觸スル所隨テ許多ノ弊害ヲ誘導セントス故ニ本官ハ本案ヲ廢棄スヘシトノ説ヲ吐キシナリ若シ本案ヲ助ケテ言ハヽ大小區ノ制ハ人民ノ甘ンセサル所ナルヲ以テ古來慣用スル所ノ郡制ニ復スルニ若カスト云ハンノミ其言ニシテ行ハルヽトキハ人民必ス云ハン大陽暦モ陰暦ニ復スヘシ彼モ亦復スヘシ此モ亦復スヘシト遂ニ他ノ弊害ヲ生スヘキナリ第百一號議案中ニ付テ其第二號ハ取ルヘキ者アルモ第三號ハ損益ナシ第一號ハ爲サヽルニ若カス且番外一番ハ本官ノ前論補理云々ノ言ヲ駁シタレトモ其補理ノ方法ハ

未タ述ヘサル所ニシテ且會場ノ問題外ニアルヲ以テ今番外一番ノ駁議ニ答辨セズ唯失策ヲ以テ人民ニ損害ヲ加ヘントスルノ宜シカラサルヲ以テ止ムヿヲ得ス之ヲ非トス是レ駁議ノ精神ナリ若シ本官ヲシテ非職ナラシメハ闕下ニ昧死頓首シテ建言セサルヲ得ス今幸ニ議官ヲ辱フス故ニ切論スルヿ此ノ如シ

○番外一番（松田道之） 本案廢棄ノ定論ニ非サルヲ見出シタリ補理ハ其方法ノ未タ定マラサルヲ以テ述ヘスト云フモ既ニ補理ト言ヘハ蓋シ從前ノ欠缺ヲ補理スルナルヘシ若シ明治十一年ノ今日ニ至ルマテノ政蹟ハ欠缺アリト雖トモ事稍一定シタルヲ以テ之ヲ改正セズト云ハヽ亦一論ト謂フヘシト雖既ニ補理ト云ハヽ抛棄ニ付スヘカラサルノ謂ナリ是レ本案ノ幾分ヲ取ラサルヘカラスノ意ヲ堅クスルノ言

ト云フベシ且耳ニ逆フヲ以テ衆議官モ同意セサルヲ知ルノ一語アリ既往ノ失策ニ對シテ自カラ悔ユルノ語是ナリ政府ハ失策ナルヲ以テ改正スルモノニアラス當時ニ允當ナリトスルモ今日ニ允當ナラサルヲ以テ改正スルモノナリ政府其制度ヲ改ムル毎ニ自カラ罪ヲ引クノ事ハ全世界未タ其例ヲ見ス且我行政官ハ改正セサルヲ得サルノ時ニ至リタルヲ以テ此法案ヲ設ケタル者ニシテ決シテ失策ヲ改ムルニアラス

○議長　五番ノ說同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者五人

○議長　同意者少キヲ以テ五番ノ說ヲ廢棄スル旨ヲ告ク

○廿二番中島信行　五番ノ說廢棄セラレタルニ付テハ本案ノ大意ハ既ニ

可ト決セリ然レトモ其節目ニ至テハ第一讀ニ於テ全部ノ修正ヲ委員ニ付托セシヲ以テ皆之ヲ不可トスルヲ知ルニ足レリ付テハ委員ヨリ差出シタル修正案ヲ議案トシ且逐條討論ヲ爲サンヿヲ冀望ス從來修正案ヲ議案トシテ議シタルノ例少シトセス此レモ亦其例ノ如クナランヿヲ冀望スト

○六番柳原前光　贊成

○十九番陸奥宗光　贊成

○七番佐野常民　贊成

○議長　二十二番ノ建議ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十三人

○議長　同意者多數ナルヲ以テ廿二番ノ建議ノ如ク修正案ヲ以テ議

案トナス旨ヲ述フ

○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス

今般地方從前ノ區畫ヲ廢シ更ニ郡區町村編制法被定候條此旨布告候事

郡區町村編制法

第一條 地方ヲ畫シテ府縣ノ下郡區町村トス

○八番山口尙芳 此修正ニハ少シク不通ノ所アリ原案ニハ第一號議案トノミアリテ布告文ナシ其ナキハ布告スルトキニ添ユルナルヘシ本案ニハ今般地方從前ノ區畫ヲ廢シ更ニ郡區町村編制法被定候條此旨布告候事ト掲ケシカ此郡區町村ハ固有ノ者ナレハ更ニ編制スヘキ者ニ非ス編制ノ言タル兵隊ヲ編成スルノ編制ノ如シ之ヲ地方編

制ト云フヘキナリ故ニ布告文ヲ今般地方從前ノ區畫ヲ廢シ別册ノ通地方編制法被定候條トシ別册ニハ地方編制法トスヘシ右ノ如ク修正ヲ要スト

○議長此賛成者ナキヲ以テ八番ノ説ヲ廢棄スル旨ヲ告ク

○廿四番津田出 第一條ノ區ノ字ハ削ルヘシ此レハ編制ノ凡例ナリ故ニ第三條ニ至リテ其中ニモ三府五港等ハ云々ト其特別ニ係ル者ヲ示スナリ右ニ付第四條ノ云々ハ固ヨリ妨ナシト雖第一條ノ區ノ字ハ删ル可キナリ布告案モ同樣删ルヘシト

○廿一番田中不二麻呂 賛成

○十三番前島密 賛成

○八番山口尙芳 賛成

○議長 廿四番ノ動議ヲ問題トス

○十九番（陸奥宗光） 本官ハ原案ノ如キヲ欲ス區ハ特立スヘキモノナリ例ヘハ神奈川ノ如キ久良岐郡横濱區ト云ヘハ不可ナリト雖本案ノ主意ハ神奈川縣横濱區ト云フヘキナリ區ハ町ヨリ成立ツモノニシテ獨立ノ者ナレハ初ヨリ分ツテ郡區ト謂フヲ可トスト

○七番（佐野常民） 區ノ字修正說アリ本官ニ於テモ之ヲ删ルト否ラサルトニ思考ヲ費ヤシタリ大小區ヲ廢スルニ方ツテ仍ホ區ノ字ヲ用ユルハ不可ナルカ如シト雖モ妨ケサルハ十九番ノ說ノ如シ且郡村ヨリ成立チシ者ハ縣ナリ區町ヨリ成立チシ者ハ府ナレハ區ヲ除ケハ府ハ縣ニ比シテ一个ノ欠缺ヲ生ス因テ區ノ字ハ存セサルヘカラスト

○十九番（陸奥宗光） 七番ノ說ハ誤解ナルヘシ府ハ必シモ區ヨリ成立ツモ

ノニ非ス又縣モ必シモ郡ヨリ成立ツモノニ非ス東京府ニモ郡アリ區アルナリ又神奈川縣ニモ區アリ郡アルノ法ナリト

○七番（佐野常民） 誤解且誤言ナリ全ク十九番ノ說ノ如シト

○十五番（福羽美靜） 區ノ字說明未タ足レリトセス府ト縣トハ同等ナルモノナリ其下ニ郡區アリ其下ニ町村アルナリ今府縣ノ下郡區町村ト云フトキハ郡區ト町村ト同等ノ嫌アリ仍テ郡區及ヒ町村ト爲スヲ可トス然ルトキハ町村ハ郡區ノ下タルヿ一目シテ明ナリ本官ハ左ノ如ク修正セント欲スルヲ以テ廿四番ノ說ヲ否ナリトスト

○八番（山口尚芳） 區ノ字ニ於テ乘除ナシ原案ニハ目下ノ區ヲ廢スルト云テ第二條ニ郡町村ノ區域名稱ト記シ第三條ニ於テ更ニ之ヲ設立セシモノナリ畢竟目下ノ區ヲ廢シ更ニ新タニ區ヲ立ツルモノトス第

三條アリ強テ論スルヲ須ヒス

○議長 廿四番ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者四人

○議長 廿四番ノ動議少數ノ旨ヲ告ク

○十五番福羽美静 及ノ字ヲ挿入セント欲スルカ故ニ廿四番ニ同意セサリシナリ及ノ字ヲ加ヘント欲スト

○議長 贊成ナキヲ以テ取消ス

○議長 本案ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十八

○議長 第二條ニ移ルノ旨ヲ告ク

○書記官戸田秋成 左ノ一條ヲ朗讀ス

第二條 郡町村ノ區域名稱ハ總テ舊ニ依ル、

但郡ノ區域名稱ヲ變更シ或ハ大郡ヲ分割シテ數郡東西南北上中下某郡トスルヲ得サル時ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

○十七番山田顕義 第二條ノ但書ニ（郡ノ區域云々法律ヲ以テ之ヲ定ム）ト云カ如シトナサヽルヲ得サル時ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムトアリ郡區町村ノミ法律ヲ以テ定ムルハ鄭重ニ過ク府縣ノ廢置スラ尙ホ法律ヲ以テ之ヲ定メス元來此等ノ事ハ憲法ニ記スヘキモノナリ仍テ之ヲ修正シテ內務卿ニ具申スヘシトナスヘシト

○十三番前島密 贊成ス

○議長 十七番ノ動議ヲ問題トス、

○番外一番松田道之 元來修正說ニ於テハ發議ス可キニアラスト雖𪜈少シク陳ヘサルヲ得ス但書ニ（區域名稱ノ字）アリ本條ニハ（舊ニ依ル）ト

アリ區域ハ改ムヘシト雖トモ名稱ハ改ムヘキニアラス之ヲ但書ニ記スルハ本條ノ力ヲ失フ且法律ヲ以テ之ヲ定ムト云ヘハ一々之ヲ元老院ニテ議セサル可カラス實際ノ如何ヲ問ハスシテ几上ニ於テ定ムルハ行政官ノ實際ヲ審按シテ定ムルニ若カス然ラハ之ヲ内務卿ニ具申スヘシトスルヲ適當トスト

○十九番（陸奥宗光）本官ハ原案ヲ可トス内務卿ニ具申ストナスヲ可トセス元來此議案ニ對シテ本官ノ精神ハ殆ント五番ノ說ニ近カリシナリ其之ニ同意セシ所以ノ者ハ郡制ニ復スルノ主意ハ後來容易ニ變更ヲ爲サヽルニ在リト謂フヲ以テナリ付テハ原案ノ第二條第三條ハ削除スヘキ者ト思考セリ然ルニ委員ニ於テ法律ヲ以テ之ヲ定ムトノ明文ヲ掲ケタレハ愈將來變更ノ患ヲ除クニ足ル者ト認メタリ

尤地方ノ廢置分合等ノヿハ憲法ニ掲クヘキハ十七番ノ說ノ如クナルヘシト雖日本未タ憲法ノ設アラサレハ之ヲ掲クルニ由ナシ然ラハ府縣ノ分合廢置ハ如何ト言ハン其事ハ郡區ノ變更スラ猶ホ法律ヲ以テ之ヲ定ムト云ヘハ府縣ノ事固ヨリ法律ノ定ムヘキ者タリ其之ヲ爰ニ掲ケサル所以ノ者ハ此法律ハ郡區ノ編制ニ止ル者ナレハ其事ニ及フヘカラス此ノ如クニシテ若シ將來府縣ノ變更ヲ議定ニ付セスンハ本院ヨリ意見ヲ提出シテ裁可ヲ仰クヘキナリ其議定ノヿニ付內閣委員ハ几上云々ト述フルト雖內務卿モ一々其地方ニ到リテ之ヲ驗スルニ非ス大臣參議モ亦然リ然ラハ吾輩議官ト何ソ擇ハン共ニ几上ノ論ト謂ハサルヲ得サルナリ且區域ハ變更スヘシト雖名稱ハ變更セスト述フト雖其東何郡西何郡ハ即名稱ノ變更ニ非

スヤ大郡ヲ分割シテ更ニ名ヲ命セスンハ之ヲ呼フニ何ト云ハンカ

○十三番（前島密）　後來容易ニ變更セサル爲メニ本案ノ如ク爲スハ不可ナキニ似タリト雖單行ノ法律ニハ餘リ鄭重ニ過クルヲ覺フ畢竟鄭重ニシテ容易ナラサラシムル爲メノ精神ナレト内閣ノ此議案ヲ本院ノ議定ニ付スルノ精神モ亦容易ニ變更ヲ爲サヽルニ在レハ實際ハ容易ニ變更スルノ患ナキナリ且單行ノ法律ニハ餘リ突然ニ似タレハ十七番ノ說ノ如ク内務卿ヘ云々トスルヲ可トス

○七番（佐野常民）　本案ノ如クニアラサレハ修正ノ精神ヲ保タス番外一番ノ辨解アレトモ内務卿ニ具狀シテ内閣ノ議ヲ請フハ從來ノ手順ナリ將來仍ホ其手順ノ如ク爲ス譯ナレハ殊更ニ之ヲ揭クルヲ用ヒス其手順ニテハ容易ニ變更スルヿナキヲ保ツ可カラサルヲ以テ此度此

ノ如ク修正セシナリ又番外一番ハ行政官ハ能ク實際ヲ知ルト云フ然ラハ何ヲ以テ今日變更ヲ爲サヽルヲ得サルノ原因ヲ起シ來リシヤ即チ内務卿ニ具狀スルニ止マリシ方法ノ過ナラスヤ付テハ府縣ハ勿論郡區ノ變更ト雖後來ハ總テ行政官ニテ自由ニ爲サシメス一々法律ヲ以テ之ヲ定メ從來變更ヨリ屢々騷擾ヲ起セシ患ヲ豫防セントス故ニ之ヲ鄭重ニ爲サヽルヲ得サルナリ元來憲法アレハ爰ニ之ヲ揭クルニ及ハス其無キヲ以テ已ムヲ得ス之ヲ記スルナリ行政官ハ能ク實際ヲ知ル立法官ノ及フ所ニ非スト云フハ無識ノ語ノミ

○番外一番（松田道之）　名稱變更ニ付テ縷々說アリト雖元來法律ノ要ハ確定ニ在ナリ然レトモ實際止ムヲ得サルノ場合ニ於テハ法律特ニ之ヲ許スナリ即チ此但書ハ止ムヲ得サルニ付テ許スモノト考フ然ラハ區

域ノ變更ハ人民ノ便不便ニヨリ止ムヲ得サレ𪜈名稱ハ不便ノミニシテ便ヲ見ス故ニ本文ノ如ク動カス可カラサルモノト爲スヲ可トス若シ此ノ如ク寛容ノ地ヲ與フル𬼂ハ人民各自ノ思考ニ任セ變更ヲ唱フルニ至ラン又東西南北云々ヲ名稱ノ變更ト言フト雖其レハ大郡ヲ分割シ云々ノ中ニ含ムナリ又內務卿云々法律云々ハ各議官ノ議スルニ任ス但行政官ハ實際ニ慣レタリトセハ何ヲ以テ頻ニ變更スル歟ト云ヘトモ區畫ノ制ノ如キハ實ハ或ル一事ニ付テ定メタル者ニシテ今日元老院ノ議ヲ以テスル如キニアラス且從前粗漏ナルヲ以テ以後モ粗漏ナリトモ謂フ可カラサルナリト

○十三番前島密　七番ハ從來區畫ノ改正ハ內務卿カ一々許否セシ如ク思フナレ𪜈其實區畫ハ皆ナ地方官カ自由ニ爲シタルナリ其証據ハ

區畫ノ變更ニ付キ布告ノナキヲ以テ知ルヘシ則チ今般區ヲ廢シテ郡ト爲シ法律以テ之ヲ一定スル所以ナリ又內務卿モ實際ヲ知ラサルハ吾輩議官ト何ソ擇ハント論スレ𪜈內務卿ハ地圖ヲ按シ或ハ屬官ヲ派出シ詳カニ之ヲ考フルモノニシテ決シテ輕忽ニ爲スモノニアラス十七番ノ說ヲ贊成セシニ拘ハラス此ノ如ク陳述スト

○十七番山田顕義　本官修正ノ意見ヲ出セシヨリ衆議官ノ說紛々アリト雖區畫ノヿノミ法律ヲ以テ定ムト云フハ他ノ法律ト權衡セス然レ𪜈變更ハ容易ニ之ヲ爲サシムヘカラス故ニ其事ハ府縣ノ事ト共ニ他日意見書ヲ提出スルトシテ本條ハ前議ノ如ク內務卿云々トスルヲ可トスト

○議長　十七番ノ說ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者二人

○議長　十七番ノ動議ハ同意者少數ナル旨ヲ告ク

○八番山口尚芳　本案ハ郡ノ區域名稱トノミ謂テ町村ニ及ハス原案ニハ郡町村ノ區域名稱ト云テ町村ノ經界テモ其錯雜スル者ハ組替フルヿトナセリ是尤ノヿニシテ修正案ハ迂遠ナルヿト存シマス村ト村トノ區域モ郡ノ經界ノ爲ニ之ヲ分ツヿアリ町ト町ノ區域モ川ノ阻隔ノ爲ニ分ツヿアリ元來行政ノ便ノ爲ニスルモノナレハ郡町村トモニ法律ヲ以テ之レヲ定ムト爲スヘシ否ラサレハ今後伺書ヲ以テ地方ヨリ申請スルヿ數多アルヘシ此法律ヲ以テ定ムルヿニ付テハ十七番其他ニ於テ議論モアリシカ其レハ單行ノ法律ナレハ彼此齊整セサルハ止ムヿヲ得サルナリト

○議長　八番ノ動議ハ賛成者ナキヲ以テ取消ス旨ヲ告ク

○議長　本案ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十三人

○書記官戸田秋成　左ノ一條ヲ朗讀ス

第三條　三府五港其他人民輻湊ノ地ハ郡制ニ拘ハラス別ニ一區トナシ其廣濶ナル者ハ區分シテ數區トナスヿヲ得

但其區域名稱ヲ定メ及之ヲ變更セサルヲ得サル時ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

○九番河野敏鎌　廿四番ノ第一條ノ修正ノ意ニ基キ此條ノ(郡制ニ拘ハラス)ノ字ヲ删除セントス

○議長　九番ノ動議ハ賛成ナキヲ以テ取消ス旨ヲ告ク

○八番（山口尚芳） 本條ハ法律ノ体裁ヲ失ス既ニ數區トナスヿヲ得ルト云ヒ又但書ニ法律ヲ以テ定ムト云フ甚タ不明ナリ其廣濶ナル者ハ區分シテ數區トナスヿヲ得トアレハ自由ニ爲スヿヲ得ルナリ第二條ノ但書ハ本文ニ舊ニ依ルトアルカ故ニ變更云云ト云フモ妨ナシト雖區分シテ數區ト爲スヿヲ得ト云テ又法律ヲ以テ之ヲ定ムト云フハ不可ナリ故ニ其廣濶ナル者ハ以下ヲ削リ而シテ但書ニ(廣濶ニシテ區分セサルヲ得サルモノハ法律ヲ以テ云云)ト爲セハ第二條ト同シクナルナリト

○議長 八番ノ動議ハ賛成ナキ旨ヲ告ク

○議長 本案ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十三人

○議長 第四條ニ移ルノ旨ヲ告ク

○書記官（戸田秋成） 左ノ一條ヲ朗讀ス

第四條 毎郡ニ郡長各一員ヲ置キ毎區ニ區長各一員ヲ置ク郡ノ狹少ナルモノハ數郡ニ一人ヲ置クヿヲ得

○議長 本案ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十五人

○議長 第五條ニ移ルノ旨ヲ告ク

○書記官（戸田秋成） 左ノ一條ヲ朗讀ス

第五條 毎町村ニ戸長各一員ヲ置ク又數個町村ニ戸長一員ヲ置クヿヲ得

○廿一番（田中不二麿） 數個ノ(個)ノ字又其下ノ(戸長)ノ字ヲ刪除セント欲

ス第四條ノ文體ト同一トナレハナリト
○十五番福羽美靜 贊成
○廿四番津田出 贊成
○議長 同意ノ議官ヲ起立セシム
起立者十五人
○議長 本日第一號議案ノ第三讀會訖リタレハ明日例刻ヨリ第二號議案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ告ケ散會セシム
午後第三時五分閉場

元老院會議筆記明治十一年五月三十日

○第百一號議案地方官會議ニ於テ議定セシ第一號第二號第三號議案ノ第一號第三讀會

議長代理河野敏鎌

出席議官

一番	津田眞道
四番	大久保一翁
五番	細川潤次郎
六番	柳原前光
七番	佐野常民
八番	山口尚芳
十番	東久世通禧

十二番　秋月種樹
十三番　前島密
十四番　水本成美
十五番　福羽美靜
十六番　大給恒
十八番　楠田英世
十九番　陸奥宗光
二十番　齋藤利行
二十二番　中島信行

内閣委員番外一番　太政官大書記官　松田道之

午前第十時三十分開場

○議長　地方官會議ニ於テ議定セシ第一號議案修正案ノ第三讀會ヲ開ク旨ヲ述フ

○書記官戸田秋成　左ノ布告案ヲ朗讀ス

○今般地方從前ノ區畫ヲ廢シ更ニ郡區町村編制法被定候條此旨布告候事

○議長　右布告案ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者十八人　多數

○書記官戸田秋成　左ノ文ヲ朗讀ス

郡區町村編制法

第一條　地方ヲ畫シテ府縣ノ下郡區町村トス

○議長　本案ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

○起立者十人多數

○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス

第二條 郡町村ノ區域名稱ハ總テ舊ニ依ル

但郡ノ區域名稱ヲ變更シ或ハ大郡ヲ分割シテ數郡東西南北上中下某郡ト云ガ如シトナサヽルヲ得サル時ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

○議長 本條ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者十一人多數

○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス

第三條 三府五港其他人民輻湊ノ地ハ郡制ニ拘ハラス別ニ一區トナシ其廣濶ナル者ハ區分シテ數區トナスヿヲ得

但其區域名稱ヲ定メ及之ヲ變更セサルヲ得サル時ハ法律ヲ以

テ之ヲ定ム

○六番柳原前光 第三讀會ナルヲ以テ五名以上ノ贊成者アルニアラザレバ修正ヲ爲スヲ得ズト雖本官ハ本條ニ允當ヲ鈌ク所アルヲ見出シタルガ故ニ之ヲ修正セント欲ス其修正ハ「數區トナスヿヲ得」ヲ改メテ「數區トナス」ト爲シ「ヿヲ得」ノ三字ヲ刪ルニアリ「得」ノ字タル之ヲ爲スモ可ナリ之ヲ爲サヽルモ亦可ナリト云フノ意義ニシテ確定ノ性質ヲ鈌リ故ニ之ヲ刪ラントスト

○八番山口尙芳 贊成

○二十二番中島信行 贊成

○十三番前島密 贊成

○十九番陸奥宗光 贊成

○七番（佐野常民） 贊成

○議長 問題トス

○議長 六番ノ說ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者十一人多數

○二十二番（中島信行） 第三讀會ニシテ且六番ノ修正多數ノ決議ヲ經タル上ハ本條ニ就キ修正ノ說ヲ出スハ規則ノ許サヽル所ナリト雖本官ハ本條ノ最允當ナラザル所ヲ修正セント欲ス特例ヲ以テ議場ノ許可ヲ得ハ幸甚ナリト

○十九番（陸奥宗光） 本官モ亦本條ノ允當ナラザル所ヲ見ル二十二番ノ所見ト暗合スルモ計ル可ラス若シ果シテ暗合セバ特例許可ノ說ヲ贊成セントス願クハ二十二番ノ修正說ヲ聞クヿヲ得ント

○二十二番（中島信行） 「郡制ニ拘ラズ」ノ句贅ニ屬ス何ントナレバ本案ハ「郡區町村編制法」ナルヲ以テ郡制區制此案中ニ在ルハ當然ナリ別ニ此句ヲ掲グレバ區ハ例外ノ者ノ如シ故ニ之ヲ刪ラントスルナリ

○議長 二十二番ノ建議ハ規則外ノ者タルヲ以テ其建議ヲ許スト否トハ之ヲ衆議ニ決スベキ旨ヲ演說シ二十二番ノ建議ヲ許スベシトスル者ヲ起立セシム

起立者十一人多數

○議長 二十二番ニ發言ヲ命ス

○二十二番（中島信行） 「郡制ニ拘ラス」ノ一句ヲ刪ラントス其說ハ既ニ之ヲ述タルヲ以テ今又之ヲ言ハズ

○十九番（陸奥宗光） 贊成

○十五番福羽美静　贊成

○十二番秋月種樹　贊成

○六番柳原前光　贊成

○八番山口尚芳　贊成

○議長　問題トス

○議長　廿二番ノ修正說ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者十二人　多數

○書記官戸田秋成　左ノ文ヲ朗讀ス

第四條　每郡ニ郡長各一人ヲ置キ每區ニ區長各一員ヲ置ク郡ノ狹少ナルモノハ數郡ニ一人ヲ置クヿヲ得

○六番柳原前光　本條ノ末文數郡ニ「一人ヲ置ク」ノ人ノ字ヲ改メテ員ト

爲シ以テ諸條ノ文ト同一ニセントス若シ五人ノ贊成者ヲ得テ議場ノ問題トナラハ幸トスル所ナリ

○十五番福羽美静　贊成

○十九番陸奥宗光　贊成

○十三番前島密　贊成

○七番佐野常民　贊成

○十二番秋月種樹　贊成

○議長　問題トス

○議長　六番ノ修正說ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者十三人　多數

○書記官戸田秋成　左ノ文ヲ朗讀ス

○第五條 毎町村ニ戸長各一員ヲ置ク又數町村ニ一員ヲ置クヿヲ得

○議長 本條ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者十三人 多數

○議長 本日第一號議案ノ第三讀會訖ルヲ以テ明日第二號議案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ演說シ散會ヲ命ス

午前第十一時閉場

元老院會議筆記明治十一年五月十五日

○第百一號議案地方官會議ニ於テ議定セシ第一號第二號第三號議案 第二號第一讀會

議長 有栖川熾仁

出席議官

一番 津田眞道
四番 大久保一翁
五番 細川潤次郎
六番 柳原前光
七番 佐野常民
八番 山口尚芳
十番 東久世通禧

十一番　黒田　清綱
十二番　秋月　種樹
十四番　水本　成美
十五番　福羽　美静
十六番　大給　恒
十七番　山田　顯義
十九番　陸奥　宗光
二十番　齋藤　利行
廿二番　中島　信行
廿三番　宍戸　璣
廿四番　津田　出

廿五番　岩下　方平

内閣委員　番外一番　太政官大書記官松田　道之

午前第十時四十分開場

○議長本日ハ第百一號議案中ノ第二號議案ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ述フ

○書記官戸田秋成左之條々ヲ朗讀ス

第二號議案

第一章　編制

第一條　府縣會ノ議員ハ郡區ヨリ撰フモノトス其人員ハ毎郡區ニ人ヨリ少カラス五人ヨリ多カラサルヘシ但郡ヲ分テ部トスル者ハ郡ニ同シ

第二條　議長副議長ハ議員中ヨリ公選シ府知事縣令ノ認可ヲ受クヘシ議長副議長及ヒ議員ハ俸給ナシ但會期中滯在日當及ヒ往返旅費ヲ給ス其額ハ議會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　書記ハ府知事縣令ヨリ命シ議長ノ指揮ニ從テ庶務ヲ整理ス

第四條　府縣ノ議員タルヿヲ得ヘキ者ハ滿廿五歲以上ノ男子ニシテ其郡區内ニ本籍ヲ定メ其府縣内ニ於テ地租十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

左ノ件々ニ觸ルヽ者ハ議員タルヿヲ得ス

第一　瘋癲白癡ノ者

第二　懲役一年以上實決ノ刑ニ處セラレタル者

第三　身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者

第四　官吏及教導職

第五條　議員ヲ選擧スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歲以上ノ男子ニシテ其郡區内ニ本籍ヲ定メ其府縣内ニ於テ地租五圓以上ヲ納ムル者ニ限ルヘシ

但前條第二項第一第二第三ノ件々ニ觸ルヽ者ハ選擧人タルヿヲ得ス

第六條　議員ヲ選擧セントスルトキハ府知事縣令ヨリ某月間ニ選擧會ヲ開クヘキ旨ヲ布令シ郡區長ニ於テハ豫メ選擧ノ投票ヲ爲スヘキ日ヲ定メ少クモ十五日前ニ之ヲ郡區内ニ公告スヘシ

第七條　選擧ノ投票ハ豫定ノ日郡區ノ事務所ニ於テ之ヲ爲シ郡區

長之ヲ調提シ選擧會中ノ取締ヲ爲スヘシ
郡區長ハ便宜ニ因リ郡區ノ事務所外ニ於テ選擧會ヲ開クヿヲ得

第八條　投票ハ豫メ郡區長ヨリ附與シタル用紙ヲ以テ選擧人各自及被選人ノ住所姓名年齡ヲ記シ選擧場外ニ於テ之ヲ製シ豫定ノ日之ヲ郡區長ニ出スヘシ投票ハ多數ノ者ヲ以テ當選人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取ル

第九條　投票終ルノ後郡區長ハ選擧人名簿ニ就テ投票ノ當否ヲ査シ又被選人名簿ニ就テ當選人ノ當否ヲ査ス若シ其當選人法ニ於テ選ニ當ルヘカラサル者ナルトキハ之ヲ除キ順次投票ノ多數ヲ得タル者ヲ取ル

第十條　議員ノ任期ハ三年トシ三年毎ニ改選ス但シ前任ノ者ヲ以

テ再選スルヲ得

第十一條　議員中第四條第二項ノ場合ニ遭遇スル者アルカ郡區外ニ轉籍スルカ死去シタルカ又ハ疾病アル等止ムヲ得サル事故ナクシテ開會ノ招集ニ應セサル者ハ退職者トシ更ニ其欠ニ代ル者ヲ選擧ス

第二章　開閉

第十二條　府縣會ハ毎年一度三月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ府知事縣令ヨリ之ヲ命シ會期ハ三十日間トス
閉會ノ延期ヲ要スルカ又ハ臨時會議ヲ開クヲ要スルトキハ府知事縣令ノ具狀ニ因リ內務卿之ヲ許否ス

第十三條　會議ノ論說騷擾ニ涉リ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スヿアリ

ト認ムルトキハ府知事縣令ハ會議ヲ中止セシメ內務卿ニ具狀シテ
裁ヲ仰クヘシ

第十四條 會議中國ノ安寧ニ關シ法律又ハ規則ヲ犯スコトアリト認ムルトキハ內務卿ハ何レノ時ヲ問ハス閉會ヲ命シ又ハ議員ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第十五條 內務卿ヨリ解散ヲ命シタルトキハ更ニ議員ヲ改選スヘシ
但シ解散ノ命ヲ受ケシ者ハ三年間議員トナルヲ許サス

第三章 議事

第十六條 通常會臨時會ヲ論セス會議ノ議案ハ總テ府知事縣令ヨリ之ヲ發ス

第十七條 府縣會ハ專ラ府縣ノ事ヲ議スルノ所ニシテ泛ク大政ニ

及フヲ得ス

第十八條 議員半數ヲ越ル以上出席セサレハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第十九條 凡ソ地方税ヲ以テ施行スヘキ事件ハ府縣ノ會議ニ附シ其議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トス若シ府縣會ノ議決ヲ認可セサルトキハ府知事縣令ハ之ヲ內務卿ニ具狀シテ裁ヲ仰クヘシ

第二十條 前條ニ掲クル事件ノ外凡ソ府縣內ニ施行スヘキ事件ニ付テハ府知事縣令ヨリ議案ヲ發シ會議ノ意見ヲ問フヲ得

第二十一條 臨時會議ハ其特ニ會議ヲ要シタル所ノ事件ニ限ル

第二十二條 通常會期中議員ノ內一人又ハ數人其府縣內一般ノ利

害ニ關ル事件ニ付政府ニ建議セントスル者アレハ議長ノ許可ヲ得テ之ヲ會議ニ付シ過半數ノ同議ヲ得タルトキハ之ヲ其議會ノ所見トシ議長ノ名ヲ以テ内務卿ニ建議スルヲ得

第二十三條 議事ハ多數ニ依テ決ス可否全數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第二十四條 府知事縣令若クハ其代理人ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明スルヲ得但決議ノ數ニ入ルヿヲ得ス

第二十五條 府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ府知事縣令ヨリ地方税ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告ヲ受ク

第二十六條 議事ノ細則ハ府知事縣令ノ定ムル所ニ依リ議長其施行ヲ掌ル

第二十七條 會議ハ傍聽ヲ許ス但シ府知事縣令ノ要メニ依リ又ハ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルヲ得

第二十八條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ規則ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ順ハサル者アルトキハ議長ハ違法者トシテ議場外ニ退去セシムルヲ得其強暴ニ渉ル者ハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルヲ得

○番外一番（松田道之） 府縣會ヲ設立セサルヘカラサル諸原因ノ中ニ付テ其最要ノ點ヲ陳述セン府縣設置以來百事稍緒ニ就クト雖モ民費徵收ノヿニ付テハ未タ確定ノ法ナキヲ以テ民間ノ物情ヲ來ス者往々之アリ其之ヲ來ス所以ノ者ハ必シモ府知事縣令ノ專斷暴行ニ由ルニ非ス又區長戸長ノ濫用ト浪費ニ因ルニ非ス全ク確定ノ法ナキヲ以

テ無智ノ細民ヲシテ疑團ヲ抱カシメ遂ニ一地方ノ騷擾ヲ釀スニ至ル故ニ一定ノ法ヲ設ケサルヲ得ス是其一ナリ明治八年ニ於テ區戸長會ノ規則ノ如キ者出シヨリ府縣會ノ如キ者各地方ニ設立セリ然レ𪜈此亦一定ノ法則ナキヲ以テ各地各法ノ形狀ヲ免レス而シテ今日各地ノ現狀ヲ視ルニ事ヲ定ムルハ會議以テ之ヲ決定スルヲ冀望スルノ形狀アリ其二ナリ民費ヲ徵收スルニ地方稅ヲ徵收スルニ其方法ナキトキハ地方官モ殆ト其施行ニ苦マン且此ノ如ク法ヲ設クルトキハ特ニ地方官徵收ノ便ノミナラス人民モ疑惑ヲ生セスシテ物情紛起スルノ煩ナシ是其三ナリト

○十九番（陸奥宗光） 本官ニ於テ原案ノ大意ヲ可ナリトス原案ハ第一號ニ比スレハ稍ヤ重大ノ事件ナリ然レ𪜈法律ノ体裁ヲナサズ殆ント抄

錄ニ類似シタルモノナリ例ヘハ第一章編制ト云フカ如キハ法律ノ体ニ非ス其他條章倒置セリ十七條ノ如キヲ第一條トシテ可ナラン故ニ各條項ニツイテハ大ニ修正セザルヲ得ザレ𪜈本日ハ第一讀會ナレハ議案ノ全體ヲ論スルノミ各條項ノ修正案ハ第二讀會ヲ竢テ提出ス可シト

○五番（細川潤次郎） 本案ノ大意ヲ可トス實ニ內閣委員ノ說明ノ如ク縣會設立ノ時機到來セリ而シテ其理由トシテ委員ガ指陳セシ所ノ三原因モ甚ダ切實ナル者ト思考ス維新更始ノ時ニ溯リテ其態勢ヲ考フルニ夫ノ三ケ條ノ御誓文中公議輿論ヲ取ラセラルヽノ旨ヲ明言シ又明治八年ノ聖詔ニモ漸次立憲政躰ヲ設立セント載スルヲ見レハ遂ニハ國會ノ開設ヲ期セラルヽ知ルベキナリ斯ク陳述スレバ專ラ

理論ノ一邊ニ局スルニ似タルヲ以テ今事實ヲ引テ之ヲ證明センニ既ニ諸縣ニ於テ民會ヲ設立シタル所多キヲ見レバ國是ノ定ル所民心ノ嚮フ所モ亦此ノ點ニ在ルヲ知レリ然ラバ理ニ因テ之ヲ論ズレハ大ハ國會ヲ起シ小ハ邑會ヲ設クベクシテ必ズヤ夫ノ文明諸國ノ如ク國會縣會邑會一モ缺ル所ナク悉ク備ツテ初メテ聖詔ノ旨ニ協フベシ然リト雖事ヲ創ムルハ時機ヲ察セザル可ラズ而シテ國會ノ大ナル邑會ノ小ナル如キハ現今之ヲ設クルノ機ナル可キ乎否未ダ之ヲ知ル能ハズンバ國會邑會ノ間ニ位スル所ノ縣會ヲ設ケ漸ク之ヲ他ニ推及セハ甚ダ順序アリトス故ニ本案ヲ可トス其各條ニ異見アリ修正ヲ加フ可キ者ハ第二讀會ニ及ンデ之ヲ悉サントスルナリ

○七番（佐野常民）　本官ハ本案ノ大意ニ於テ大ニ可ナリトス委員ノ說明セル三條即チ可ナリトスル所以ナリ更ニ必要トスル所ロアリ之ヲ申述セン維新ノ際御誓文アリシ如ク廣ク公議輿論ヲ取ルハ古今萬國普通ノ道理ニシテ何ソ獨リ歐米諸國ヲ以テ然リトセンヤ但シ其程式ニ於テハ歐米諸國實ニ勝レリトス即チ其程式ヲ取ル可キナリ抑一府縣ノ利害ハ一府縣ノ相因ル所ロニシテ之ヲ議スル者ヲ一府縣ヨリ取ルハ言ヲ竢タス乃チ天下ノ公議ヲ取ルハ天下ノ人ヲ以テセサル可カラス今府縣會ヲ設立セハ漸漬シテ國會ヲ設立スルニ至ラン然レ𪜈時機猶ホ早シ郡會ニ至ツテハ其機蓋シ近キニ在ル可シ今ニ當リ此ノ如キ行政區ヲ定ムルハ最モ宜シキ所ロナリトス本官ノ第一號第二號議案ヲ可トスル所以ナリ若シ夫レ修正ノ意見ハ別ニ在ルアリト

○二十番（齋藤利行）　本案ノ大意ヲ可トス府縣會設立ノ時機熟シタルノ説ハ内閣委員及ビ諸議官ノ陳述ノ如シ各條ヲ審議シテ修正ヲ加フ可キ者ハ第二讀會ノ事務ナレバ今之ヲ言ハズ

○八番（山口尚芳）　本案ノ大意ヲ可トス其説ハ内閣委員ノ辨明ニ盡セリ但シ縣會ヲ設立スルノ順序等ニ至テハ本案ノ條々大ニ缺クル所アリト思考ス故ニ唯本案ノ大意ノミヲ可トス

○六番（柳原前光）　内閣委員ノ説明及ビ諸議官ノ發論ノ如ク府縣會設立ノ時機既ニ到着シタリト思考ス啻到着シタルノミナラス現ニ諸縣ニ開設セシ所多キヲ以テ故ニ之ヲ一定スルノ法律無レハ其躰制區々ニ分レントス此點ヨリ考察スルモ亦本案ノ今日ニ必要ナルヲ見ルナリ

○議長ハ諸議官ノ發議ナキヲ見テ討議既ニ盡タリトシ第一讀會此ニ終ル旨ヲ陳述シ散會セシメタリ

午前十一時三十五分閉場

元老院會議筆記明治十一年五月廿五日

○第百一號議案地方官會議ニ於テ議定セシ第一號第二號第三號議案第二號第二讀會

議長有栖川熾仁

出席議官

一番　津田眞道

四番　大久保一翁

五番　細川潤次郎

六番　柳原前光

七番　佐野常民

八番　山口尚芳

九番　河野敏鎌

十番　東久世通禧
十一番　黒田清綱
十二番　秋月種樹
十三番　前島密
十五番　福羽美静
十六番　大給恒
十九番　陸奥宗光
廿一番　田中不二麿
廿二番　中島信行
廿三番　宍戸璣
内閣委員　番外一番　太政官大書記官　松田道之

午前第十時二十二分開場

○議長　第百壹號議案中即チ地方官會議ニ於テ議定セシ所ノ第二號議案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ演述ス

○七番（佐野常民）　第二讀會ヲ開クニ方リ別ニ建議セント欲ス本案ハ第一讀會ニ於テ別ニ廢棄ノ説ヲ發スル者ナシト雖第一號及第三號ハ既ニ廢棄ノ説ヲ發スル者アリ其レト連串シタル議案ナレハ亦其レト同一ノ説ヲ抱ク者アラン故ニ先ツ其大旨ヲ論決シ而后各條ヲ論決スヘシ若大意否ト決スルトキハ各條ヲ討論スルノ無用ニ屬スルハ固ヨリ言ヲ俟タサルナリ既ニ昨廿四日第一號ノ會議ニ於テモ前議ノ如ク議案ノ大旨ヲ議決シ次テ各條ニ及ヘリ其例ニ從ヒ先ツ本案大旨ノ可否ヲ問題トシ其可否ヲ決シ而テ後チ各條ニ及ハンコトヲ欲ス

因テ各議官ノ賛成ヲ得テ議場ノ問題トナランヿヲ冀フ

○九番(河野敏鎌) 七番ノ説ハ會議ヲ整頓スルカ爲ニ必要ナル議ト謂フヘシ讀會規則ニ此事ナキハ實ニ缺典ト謂フヘキノミ本官ハ之ヲ賛成ス

○議長 七番ノ建議ニ九番賛成シタルヲ以テ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十四人

○議長 本案大意ノ可否ヲ決スルノ説ハ同意者多數ナル旨ヲ告ケ本案ノ大意ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

全員悉起立

○議長 本案ノ大意ハ全會一致之ヲ可トスルノ旨ヲ告ク

○九番(河野敏鎌) 大意既ニ可ト決スル以上ハ本官モ亦特別ノ建議ヲ爲サント欲ス本官ハ第一讀會ニ於テ闕席セシヲ以テ其詳細ヲ知ラスト雖モ議案ノ全部ヲ委員ニ附托シ其主意ニ基キ修正シタルハ報告書ニ於テ瞭然タリ然レハ則チ修正案ヲ本案トナシテ議センヿヲ冀望ス因テ各議官ノ賛成ヲ得ンヿヲ望ム

○十九番(陸奥宗光) 九番ノ建議ヲ賛成ス

○議長 十九番ノ賛成アルヲ以テ九番ノ建議ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

全員悉起立

○議長 九番ノ動議ハ全會一致之ヲ可トスル旨ヲ告ケ書記官ニ命シ逐條朗讀セシム

○書記官（戸田秋成）布告案ヲ朗讀ス

今般府縣會被相設規則被定候條此旨布告候事

但即今直チニ會議開キ難キ地方ハ其事由ヲ內務省ヘ具狀ス可シ

○廿一番（中田不二麿）布告案ニツイテ本官ノ所見ヲ陳セン被相設ノ字ハ删除スルヲ可トス何則府縣會ハ該地方ノ民會ナレハ中央政府ノ命令ヲ發シ強要ス可キモノニ非ス唯是カ規則ヲ設ケ會議ヲ設立セハ此ノ規則ニ遵由ス可シト示ス可キノミ決シテ政府ノ干渉スヘキモノニ非ルナリ被相設ト云フトキハ政府是ヲ強要スルナリ政府之ヲ要スルハ民會ノ主意ニ非ス唯其設立ヲ認可スルノミノ一點ニ在ルナリ故ニ本官ハ今般府縣會規則被定候條云々ト修正セント欲ス付テハ但書ニ直チニ開キ難キ地方ハ其事由ヲ內務省ヘ具狀ス可シト云

フヿハ無論不用ニ屬スレハ删除セント欲ス

○一番（津田眞道）廿一番ノ發論ヲ贊成ス

○議長　一番ノ贊成アルヲ以テ廿一番ノ動議ヲ問題トナス

○番外一番（松田道之）廿一番ノ發論ハ大ニ原案ノ主旨ニ背馳スレハ已ムヲ得ス一言ヲ費サヽルヲ得ス政府ノ主意ハ本年ヨリ一般ニ府縣會ヲ開設セシメ其直チニ開設シ難キ地方アレハ已ムヲ得ス暫ラク延引ヲ許可スト謂フニ在ルナリ廿一番ハ府縣會ハ政府ノ強要スヘキ者ニ非ス人民ノ自由ニ任セテ唯其設立ヲ認可スルノ一點ニ止マルヘシト云フト雖モ府縣會ナケレハ地方稅ヲ以テ施行スヘキ事件及其レヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算等ヲ議定スルハ何ヲ以テ能ク之ヲ爲シ得ルヤ是レ其ノ必要ナル所以ニアラスヤ既ニ必要ナリ然レハ

之ヲ開設セシメサルヲ得ス然リト雖モ目今直チニ開設シ難キ地方ハ其事由ヲ内務省ニ具狀シ暫ラク延引スルヲ許スノ餘地ヲ與フルノミ但書決シテ删除ス可カラス

○十九番陸奥宗光　本官モ亦タ内閣委員ト同精神ナリ廿一番ノ議ヲ否ナリトス

○七番佐野常民　本官ニ於テモ廿一番ノ議ヲ否ナリト認ム府縣會ノ設立之ヲ民ニ委スルハ政治ノ要務ニ反戾ス現今マテハ政府萬般ノ事務ヲ綜理スルモ自今ハ其一部分ヲ人民ノ協議ニ任スルヲ以テ憲法トナスハ實ニ喜フヘキヿナリ普ク公議輿論ヲ采ルハ會議ニシテ之ヲ實際ニ施行スルハ行政官ニ在ルハ政治上ニ於テ尤モ尙フヘキ事ナリ遠ク萬國ニ徵シ博ク古今ニ鑑ミルモ輿論公議ノ與スル所ヲ以テ

施政ノ目的トセサルハナキナリ其故ハ人民各自ニ横議シ各自ニ偶語スル𪜈ハ政府何ヲ以テ國家ノ安寧ヲ保護スルヿヲ得ンヤ是ヲ以テ博ク公議輿論ヲ采ルノ憲法ヲ設クルハ政府ノ一大緊要務ナリトス故ニ府縣會ハ政府令シテ以テ之ヲ設立セシメサルヘカラス併シ實際開設シ難キ事故アル地方ハ暫ク延引スルヿヲ許スノ餘地ヲ與ヘサルヘカラス是レ廿一番ノ政府ヨリ要スヘキモノニ非ストノ論ニ同意スルヿ能サル所以ナリ

○九番河野敏鎌　本官ハ内閣委員及ヒ十九番七番ト同意ニシテ廿一番ノ議ニハ同意セス何則チ府縣會ハ民會ナレハ唯其規則ヲ公布スルニテ足レリトセハ他日政府ニテ國會ヲ設立セント欲スル時ハ如何ナルヤ唯國會規則被相定候條此旨布告候事トノミスルカ事物ナクシ

テ法則ノミヲ設クルノ理由ナキナリ又國會ノ設立アレハ府縣會ノ事モ議定スヘシト雖モ今國會ノ設ケナキヲ以テ已ムヲ得ス中央政府ヨリ之ヲ命令セサルヲ得ス亦固ヨリ政府權内ノ事ト謂フヘシ本官ニ於テハ瑣少文字ノ修正ヲ加ヘント欲スルノミ其修正ハ本文ノ被ノ字但書ノ直チニノ字ヲ删除スルニ止ルナリ廿一番ノ動議決定ノ模様ニテ之ヲ提出セン

○十六番大給恒　本案ニツイテハ委員及ヒ其他二三ノ議官ト所見ヲ同フス故ニ廿一番ノ説ヲ否トス何トナレハ府縣會ハ必ス設ケサル可ラス其現今マテ普ク全國ニ及ハサルモノハ時機ノ未タ到ラサルモノナリト謂フヘシ抑維新更始ノ初ニ方テ博ク公議輿論ヲ採リ國是ヲ定ムルヿヲ天地神祇ニ御親誓在ヲセラレシ聖旨ト明治八年立憲

政体ヲ興スノ聖詔トヲ奉戴スレハ既ニ聖上ヨリ人民ニ參政ノ權ヲ與ヘサセラレシト謂テ可ナリ何ソ人民ノ願請ヲ待テ初テ之ヲ許允スルトセンヤ故ニ本官ハ本案ヲ可トシ廿一番ノ説ヲ否トス

○議長　廿一番ノ動議ヲ可トスル議官ヲ起立セシム

起立者二人

○議長　廿一番ノ動議ハ同意者少數ナル旨ヲ告ク

○十三番前島密　本官ハ府縣會條例被相設候條云々ト修正セントス其故ハ會議ヲ以テ事ヲ決スルノ氣運ハ既ニ社會ニ旺盛スルヲ以テ政府ハ唯其制度ヲ確定シ會議ヲ起スニハ必ス此條例ヲ遵由ス可シト命令スルニテ可ナリ且此案中ニ掲載スル所ノ者ハ撰擧ト云ヒ議則ト云ヒ開閉ト云ヒ皆條例ニ外ナラサレハ單ニ府縣會條例被相設ト

爲スヘシ
○議長　賛成者ナキヲ以テ十三番ノ動議ハ之ヲ問題ト爲サヽル旨ヲ告ク
○九番河野敏鎌　上ノ被字ト但書ノ直チニノ字ヲ削除セント欲スト
○十番東久世通禧　賛成
○十六番大給恒　賛成
○十九番陸奥宗光　賛成
○七番佐野常民　賛成
○議長　賛成者アルヲ以テ九番ノ動議ヲ問題トス
○五番細川潤次郎　本官モ亦タ瑣少文字ヲ修正セント欲ス然レトモ九番ノ修正說ト稍ヤ異ナル所アリ故ニ九番ニ同意スルヿ能ス其說如何

ント云フニ此但書ニ內務省ヘ具狀ス可シト云フ後條ノ文例即チ第五條第六條第二十九條等ノ文例ニ依ルトキハ內務卿ヘ具狀ス可シト修正セハ始終一體ニテ可ナラン
○六番柳原前光　本官ハ五番ノ說ニ同意ナレハ九番ノ說ニ同意スルヿ能ス
○議長　九番ノ動議ヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者六人
○議長　九番ノ動議ハ同意者少數ナル旨ヲ告ク
○五番細川潤次郎　九番ノ修正可ナリト雖モ聊カ異ナル故ヲ以テ同意セサリシカ矢張其說ノ如ク府縣會相設候條云々トシ但書ノ直チニノ三字ヲ削リ且本官ノ前說ノ如ク內務卿ヘ具狀スルヲ內務卿ヘト修

正セント欲スト

○九番河野敏鎌 賛成

○六番柳原前光 賛成

○十五番福羽美靜 賛成

○議長 五番ノ動議ヲ以テ問題トス發言ナキヲ以テ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者十三人

○議長 五番ノ動議ハ同意者多數ナル旨ヲ告ク

○書記官戸田秋成 左ノ一條ヲ朗讀ス

府縣會規則

第一章總則

第一條 府縣會ハ地方税徵收方法ヲ議シ其惣額ヲ豫定シ前年度ノ出納決算ヲ審査スルヿヲ得然レトモ泛ク大政ニ及フヿヲ得ス

○十六番大給恒 本條ハ一篇ノ綱領ナリ而〆原案ノ第十七條ハ能ク一篇ノ綱領タルノ體裁ヲ備ヘリ故ニ開卷第一ニ右ノ第十七條ヲ取テ用テ府縣會ハ專ラ府縣ノ事ヲ議スルノ所ニ〆泛ク大政ニ及フヿヲ得スト揭載セハ綱領立テ節目自ヲ舒ヒン併ナカラ右様ト爲ルキハ地方税徵收方法ヲ議シ其總額ヲ豫定スルノヿハ全ク删除シテ可ナル歟ト言フニ決シテ然ラス是又地方ニ於テ緊要ノ條件ナリ故ニ其事ハ第二條ヲ設テ其文ハ即チ此第一條中ヨリ裁取シテ「地方税徵收方法ヲ議シ其摠額ヲ預定ス」ト爲シ而シテ本案ノ第二條ヲ第三條トシ逐次ニ條ヲ改メント欲スルナリ若シ賛成者ヲ得テ議場ノ問題トナ

ラハ幸ナリト
○八番山口尚芳 本官ハ十六番ノ議ヲ賛成ス其理由ハ何ノ法律ニテモ第一條ニ必ス全躰ノ主眼ヲ明示ス府縣會ノ主眼ハ何物ナリヤト言フニ地方ニ關スル利害得失ヲ議定スル是ナリ然ルニ爰ニハ其事ヲ掲載セスシテ地方税徵收ノ方法ヲ議シ其總額ヲ豫定シ前年度ノ決算ヲ審査スルノミヲ載ス彼ノ説明書ヲ視ルニ凡百行政ノ事件ニ就テハ地方長官ハ會議ニ垂問シテ意見ヲ取ルヲ得ルトアリ然ラハ一府縣内ノ事ハ盡ク之ニ參與スルヿヲ得ルナリ苟モ府縣會ヲ設立スル以上ハ此ノ如クナラサルヘカラス當然ト謂フ可シ故ニ十六番ノ説ノ如ク修正シテ可ナリ
○議長 十六番ノ動議ハ八番之ヲ賛成シタルヲ以テ議場ノ問題トス

○十九番陸奥宗光 本官ハ十六番ノ議ヲ不可ナリトス其故如何ントナレハ原案ノ第十七條ハ主意曖昧トシテ解ス可ラス此ヲ以テ第一條トナスハ不可ナリ抑府縣會ノ精神ハ何クニ在リヤト問ハンニ地方税徵收ノ方法ヲ議シ隨テ其惣額ヲ豫定シ隨テ前年度ノ出納決算ヲ審査スルニ在ルノミ此他何事ヲ議セントスルヤ八番ハ泛然一府縣内ノ事ヲ議ス可シト言テ彼説明書ヲ引キ之ヲ証スト雖説明書ハ原案ノ第二十條即本案ノ第七條ヲ説明スル者ニシテ其第七條ノ事ハ府知事縣令ヨリ議案ヲ發シ會議ノ意見ヲ問フヿヲ得ル迄ナレハ其意見ヲ採ルト採ラサルハ知事令ノ意内ニ在リ爾ノミナラス會議ノ意見ヲ問フモ問ハサルモ固ヨリ知事令ノ意内ニ在ルナリ然ラハ此事ハ知事令ノ意見次第ノ者ナレハ府縣會ノ必ス務ムヘキ事ニハ非サ

ルナリ勿論地方税ヲ以テ施行スヘキ事件ト雖其議決ハ知事令認可ノ上施行スヘキ者トスレハ其權力ハ甚タ弱點ヲ占ムル者ナレト併シ意見ヲ問フヿヲ得ルト謂フカ如キ脆弱ノ者ニハ非サルナリ必ス務ムヘキノ事タリ然ラハ府縣會ハ地方税徴收方法ヲ議定スルノ外別ニ精神ナキナリ其方法ヲ議定スルニ付テハ隨テ其摠額ヲ豫定セサル可ラス又タ隨テ前年度ノ出納決算ヲ審査セサル可ラス如此論究シ來レハ原案ノ第十七條ノ如キ漠然泛然タル者ヲ掲ケテ第一條トナスヘカラサルハ論ヲ竢サルナリト

○八番山口尚芳　特ニ地方税徴收方法ニ止ル可カラサルナリ例ヘハ警察ノ配置河港道路ノ修繕等ノ如キ諸般ノ施為ニ付キ其得失ハ必ス之ヲ其利害ニ適切ナル人民ノ代議員ニ諮詢スヘキナリ故ニ利用厚生

ノ要務ハ悉ク之ヲ會議ニ付セサル可ラス十九番ハ徴税及惣額豫定ヲ除クノ外議ス可キヿナシト言ト雖モ豈其レ然ランヤ故ニ十六番ノ説ノ如ク修正セサルヘカラスト

○二十二番中島信行　十六番八番ハ原案ノ第十七條ヲ如何ニ見解セシヤ其府縣會云云ハ泛ク大政ニ及フヲ得ストノ枕詞ニ過キズ一氣讀シテ其意味瞭然知ルヘキナリ且府縣會ノ開設ハ三十日以内ナリ其間府縣内ノ森羅萬象ヲ議定セシメント欲スルカ徴税方法ヲ議定スル猶是日モ足ラサラン故ニ其議スル所ハ徴税ニ止ル知ヘキナリ又八番ハ徴税方法ノミヲ議シテ事ノ利害得失ヲ議セサルヲ憂フルニ似タリ是決シテ憂フルニ足ラス其譯ハ府知事縣令ヨリ發スル所ノ議案ノ事件ハ彼レノ經驗シテ是非此事ハ施行セサルヲ得スト認メ而

シテ尙斟酌シテ萬止ムヲ得サルニ出ル者ナレハ利害得失ヲ顧ミス
シテ府知事縣令ノ恣ニ施行セント欲スル者ニ非ス然レ𪜈民力ノ能
ク堪ユルト堪ヘサルトニ至テハ會議以テ之ヲ決定セサルヘカラス
故ニ會議ハ府知事縣令ノ施行セント欲スルノ事件ニ付テ民力ノ能
ク堪ユルト堪ヘサルトヲ議決スルニ在ルナリ而シテ民力ノ能ク堪
ユル所ニ非スト決スル時ハ其事件ハ萬止ムヲ得サルニ出ルト雖亦
止ムヲ得スシテ施行スルヿヲ得サルニ至ル然ラハ則徵稅方法ヲ議
スルニ外ナラサルナリト

○十九番陸奧宗光 八番ノ說ノ如ク地方諸般ノ施爲盡ク會議ニ附シ其許否ヲ竢テ施行スル者トセハ地方官ハ事務ヲ執行スルヿヲ得サルナリ併シ徵稅ノ一事ニ至テハ會議ノ決スル所假令府知事縣令ノ意ニ

適セスト雖彼ハ恣ニ其措置ヲ爲スヿヲ得ス必ス內務卿ニ具狀シテ其指揮ヲ請ハサルヲ得サルカ如キ左樣ナル權力ヲ有スル者ナリ其他ノ事項ニ至テハ之ヲ會議ニ附スルモ附セサルモ該長官ノ意見ニ任スルナリ惟其人民ニ適切ナル者ニ至テハ專ラ之ニ關係セシメ又關係ノ權ヲ有ス是則府縣會ノ精神ニシテ其他ノヿニハ權ヲ有セサルモノナリ

○十六番大給恒 原案ノ第十七條ハ其意味漠然タリトノ說アレ𪜈本官ハ其意ヲ領セス本案第一條ノ地方稅徵收方法及其總額ヲ預定スルヲ精神トセハ何故爰ニ泛ク大政ニ及フヲ得スト揭ケシヤ其爰ニ揭ケシ所ヲ以テ之ヲ視レハ徵稅ノ事ノミヲ以テ精神ト謂フヘカラス此モ亦精神ト謂フヘキナリ既ニ精神ト謂フ時ハ徵稅云々ト大政云

々トハ竹木栢接スル者ト謂フヘシ故ニ原案ノ第十七條ヲ其儘開巻第一ニ掲クルヲ穩妥ナリトス

○十二番秋月種樹 泛ク大政ニ及フヲ得スノ一句ヲ除去スレハ格別ナレト除去ス可カラサルノ精神アルモノトスレハ十六番ノ修正ノ如クナルヲ可トス勿論徵税云々ノヿハ第二條ヲ設ケ之ヲ掲クルノ説ナレハ愈其不可ヲ見サルナリト

○七番佐野常民 十六番ノ修正案ニハ前年度出納云々ノ項ナシ十六番ハ之レヲ除去セント欲スルカ

○十六番大給恒 其項ハ此二條中ニハ掲載セスシテ原案第二十五條ノ文ヲ其儘ニ適當ノ位置ヲ擇テ之ヲ插入セント欲ス左スレハ審査ハ報告ト變ス固ヨリ其意ナリト

○十九番陸奥宗光 十六番ノ修正ハ未成ノ修正ト謂ヘシ何則前年度云々ノヿハ適當ノ位置ヲ擇テ之ヲ插入セント言フ腦裏ニ包藏シタル修正ナレハ可否スルヿ能ス未成ニ非スシテ何ソ故ニ本官ハ未成ノ修正ニ對シテハ別ニ論スルヿナシ惟審査ヲ報告ニ變スルニ至テハ一言セサルヘカラス元來地方ノ經費ハ其府縣會ノ議決ヲ取ル者ト雖其豫算ハ府知事縣令ヨリ之ヲ立ツル所ノ者ナレハ勢ヒ權力ノ豫算ニ歸スルヲ免レス故ニ會議ニ付スルニ審査ノ權ヲ以テセサルヘカラス是其平均ヲ失ハシメサルノ意ナリト

○議長 時已ニ正午ニ及ヒタルヲ以テ午後引續開場ノ旨ヲ述ヘ散會ヲ命ス時ニ十二時ナリ

午後第一時開場

○議長午前ヨリ引續ノ會ヲ開ク旨ヲ述ヘ廿三番議官ハ疾ノ故ヲ以テ闕席シタルヿヲ告ク

○五番細川潤次郎　本案第一條ニ於テ十六番ノ動議議場ノ問題トナレリ本官ノ精神ハ本案ノ如キヲ欲スト雖モ稍穩ナラサル所アレハ些少ノ修正ヲ加ヘント欲ス各議官ノ說各異同アリト雖モ其皈着ハ泛ク大政ニ及フヲ得スノ一句ニ在リ如何ニモ木ニ竹ヲ接スルニ似タリ然ラハ原案ノ第十七條ノ如クシテ可ナランヤト言フ左樣ニモ非サルナリ本官ハ別ニ不都合ナル者ヲ見出シタリ其故ハ前年度ノ出納決算ヲ審査スルヿヲ得ルト云フ得ルノ字是ナリ近日ノ慣用ニテハ隨意ノ意トナレリ付テハ地方稅徵收方法ヲ議スルモ可ナリ議セサルモ可ナリ其總額ノ豫定スルモ可ナリ豫定セサルモ可ナリ前年度

ノ出納決算ヲ審査スルモ可ナリ審査セサルモ可ナリト解セン會議ノ權力甚減削スルニ似タリ下條ノ問ヲ得ルト謂フカ如キハ會議ノ常務ニアラサレハ自由ヲ與テ可ナリト雖之ヲ常務ノ冒頭ニ掲クルハ不適當ト謂フヘシ故ニ審査スル所ナリトシテ泛ク大政以下ヲ削除スルヲ可トス此大政云々モ原案ノ儘ナレハ不都合ナカルヘシト雖モ本條ノ如ク修正シテ仍之レヲ用ルハ不可ナリト

○番外一番松田道之　本案第一條ニツイテ十六番ノ動議ハ原案ノ字句ヲ用ユルト雖モ其精神ハ反對ノ點ニ出テタレハ之ヲ駁セサルヲ得ス而テ修正案ハ原案ノ精神ト同一ナリトス二十二番ノ議ノ如ク府縣會ハ地方稅徵收ヲ議スルヲ以テ會議ノ常務トス故ニ之ヲ冒頭ニヲキ後條ニ之ヲ詳言セシナリ八番十二番十六番ハ府縣內ノ事務ハ會議

ニ於テ議定セシムルノ主意ナレトモ決シテ然ラス地方税ニ關係セサル事件ハ會議ニ於テ毫モ喙ヲ容ルヽヿ能サルナリ是レ原案ノ精神ナリ其點ヨリ之レヲ見レハ修正案ハ原案ト同一ナリ又然レトモ泛ク大政ニ及フヲ得ストノ句ハ木ニ竹ヲ接スルニ似タリト論スレトモ是又タ然ラス地方税ノ事ヲ議スルモ大政ニ及フヿアリ例ヘハ地方税ノ五分一或ハ十分一ニテ民力ニ耐ユルヤ耐ヘサルヤヨリ論及シテ終ニ本租ニ及フノ恐レアリ故ニ法律ノ分界ヲ定ムルハ緊要ナリトス十六番ノ修正豈非ナラスヤ

○十六番（大給恒）前年度出納決算云々ヲ後條ニ加ヘントノ言テ其位置ヲ示サヽレハ未成ノ修正トノ駁ヲ來セリ即チ原案ノ第廿五條ヲ本案ノ第七條ノ後ニ加ント欲セシカ決議ノ際錯雜ヲ生センヿヲ恐テ陳

述セサリキ各員其意ヲ領シテ決議アランヿヲ冀望ス又午前ニ於テ原案ノ第十七條ヲ本案ノ第一條ニ掲ケンヿヲ陳述セシカ今又單簡ニ之ヲ陳述セントス本案ノ第五條ハ利害得失ヲ建議スルヿヲ掲ケ第七條ハ會議ノ意見ヲ問フヿヲ掲ク右ノ如クナルトキハ府縣會ノ精神ハ專ラ徵税方法ニ在リト謂フト雖夫等ノヿヲ經テ之ヲ視ルトキハ特ニ徵税方法ノミニ止マラサルナリ左スレハ府縣會ハ專ラ府縣內ノ事ヲ議スルノ所ニシテトスルモ何ノ不可カ之有ン

○八番（山口尚芳）委員ノ駁議ニ答エン大政ニ及ハサレハ何事ヲ議スルモ議會權內ノヿナリ然レトモ之ヲ制限スルハ議案ヲ知事令ヨリ出スニ於テ既ニ十分ナリトス本案ノ文章詳明ナラス故ニ修正シテ冒頭ニ府縣會ハ專ラ府縣ノ事ヲ議スル所ニシテ云々ト改ムヘシト

○番外一番松田道之 八番ハ午前ニ於テ府縣內ノ事ハ百事會議ニ關ハサルヘカラスト論シ今又議案ハ地方長官ヨリ發スル者ナレハ專ヲ府縣ノコトヲ議スルノ所ニシテトスルモ他事ニ涉ル者ニ非スト論ス午前ノ說ト反對スト謂ヘシ故ニ一言セサルヘカラスト

○七番佐野常民 本官ハ修正案ノ委員ナレハ本案ヲ主持スルハ勿論ナレトモ尙ホ再三熟慮審按シ又タ各議官ノ論說ヲ詳聞スルニ第一條ハ修正セサル可ラサルナリ如何ニモ泛ク大政云々ハ語脉接續セス又タ前年度出納決算ヲ審查スルハ通常會議ノ始ニ於テスルコトナレハ本條ヲ分割センコトヲ望ム本條ノ起首ニ府縣會ハ專ラ府縣ノ事ヲ議スト揭クレハ泛ク大政ニ及ヲ得スノ句ニ緊接シテ文意分明ナルノミナラス又タ會議ノ主務タル大綱ト限制トヲ確定シ而テ其主務ノ目

ヲ次條ニ移シ地方税徵收云々トセハ允當ナルヘシ審查ハ別事ナレハ之ヲ別條ニ立ツルヲ可ナリトス

○六番柳原前光 十六番ノ說ハ原案ノ第十七條ヲ第一條トシ地方税徵收方法云々ヲ移テ第二條トナシ前年度云々ハ第七條ノ後ニ加ヘントナリ八番十二番之レヲ贊成ス然レトモ本官未タ其說ノ異同ヲ詳ニセス願クハ之ヲ聞クコトヲ得ン

○十二番秋月種樹 原案ノ第十七條ヲ用テ第一條トシ第二條ヲ設ケテ地方税徵收云々トシ本案第七條ノ次ニ原案第二十五條ヲ入レント欲ルノミ

○十九番陸奥宗光 原案ノ第十七條ヲ卷首ニ置カントシ十六番ノ修正說アレトモ本官ハ之ニ同意スルコ能ス何トナレハ元來第十七條ハ泛然

捕捉スル所ナキモノト言フ可シ其故ハ各官各樣ノ見解ヲ下セシヲ以テ知ルヘシ此僅々タル人員ニシテ其見解ノ異ナル此ノ如シ若シ之レヲ法律トナシ天下ニ布告セハ亦各人各樣ノ見解ヲ下サン其不可言ヲ俟サルナリ本官ハ府縣會ノ精神ハ本案第六條ニテ至レリ盡セリトス第五條ハ內務卿許可セサレハ之ヲ奈何トモスルヿ能ハサルナリ第七條ノ如キモ亦タ其意見ヲ問フト問ハサルトハ知事令ノ意思ニ在ルナリ然レハ則府縣會ノ精神ハ徵稅ノ一點ニ在ルハ論ヲ待スシテ知ルヘシ此一點ニ於テハ地方長官若シ其規定ニ戾ルヿアラハ何ヲ以テ會議ニ附セサルヤ否ト責問スルヲ得ルノ權力ヲ有スレハナリ故ニ本官ハ十七條ノ如キ泛然漠然タル者ヲ首卷ニ掲クルハ不同意ナリト

○議長日暑既ニ移ルヲ以テ討論ヲ中止シ廿七日例時ヨリ引續ノ會ヲ開ク旨ヲ告ケ散會ヲ命ス

午後第二時三十分閉場

元老院會議筆記明治十一年五月三十一日

○第百一號議案地方官會議ニ於テ議定セシ第壹號第二號第三號議案ノ第二號第二讀會

議長河野敏鎌代理

出席議官

一番　津田真道

三番　山尾庸三

四番　大久保一翁

五番　細川潤次郎

六番　柳原前光

七番　佐野常民

八番　山口尚芳

十番　東久世通禧
十二番　秋月　種樹
十三番　前島　密
十四番　水本　成美
十五番　福羽　美靜
十六番　大給　恒
十七番　山田　顯義
十八番　楠田　英世
十九番　陸奥　宗光
二十番　齋藤　利行
廿一番　田中不二麿

廿二番　中島　信行
廿五番　岩下　方平
内閣委員番外一番　太政官大書記官松田　道之

午前第十一時十分開場

○議長　本日ハ第百一號議案即チ地方官會議ニ於テ議定セシ所ノ議案第二號ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ演述ス

○五番（細川潤次郎）　前會ニ於テ議場ヲ整頓セシムル爲メニ本案ヲ再ビ修正スルヿニ決議シ乃チ委員ノ報告書成リテ本日ノ會議ヲ開クニ至レリ本官ハ同一ノ精神ヲ以テ議事整頓ノ爲メニ委員ノ修正セル報告ヲ本案ト爲シテ討論セント欲ス

○十九番（陸奥宗光）　賛成

○十六番大給恒 賛成

○廿一番田中不二麿 賛成

○議長 五番ノ建議ヲ以テ可トスル者ヲ起立セシム

起立者十六人

○議長 同意者多キヲ以テ五番ノ議ヲ可トスル旨ヲ告グ

○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス

府縣會規則

第一章 總則

第一條 府縣會ハ地方税ヲ以テ支辨スベキ經費ノ豫算及ビ其徴收方法ヲ議定ス

○議長 本條ヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者十九人

○議長 同意者多キヲ以テ本條ヲ可トスル旨ヲ告グ

○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス

第二條 府縣會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ別ツ其定期ニ於テ開ク者ヲ通常會トナシ臨時ニ開ク者ヲ臨時會トナス

○議長 本條ヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者二十人

○議長 同意者多キヲ以テ本條ヲ可トスル旨ヲ告グ

○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス

第三條 通常會臨時會ヲ論ゼス會議ノ議案ハ總テ府知事縣令ヨリ之ヲ發ス

○議長　本條ヲ可トスル者ヲ起立セシム

各員悉起立

○議長　全會同意ナルヲ以テ本條ヲ可トスル旨ヲ告グ

○書記官（戸田秋成）左ノ文ヲ朗讀ス

第四條　臨時會ハ其特ニ會議ヲ要シタル件ニ限リ其他ノ事ヲ議スルヲ得ズ

○五番（細川潤次郎）大意ニ於テ異議ナシト雖文字上少ク修正ヲ加ヘントス即チ「其特ニ會議ヲ要シタル件」ノ句ヲ改メテ「其特ニ會議ヲ要スル事件」ト爲シ「其他ノ事」ノ句ヲ改メテ「其他ノ事件」ト爲サントス何ントナレバ要シタルト云フハ過去ノ事ヲ言フノ文義ナリ本條ハ必シモ過去ノ事ヲ言フニ限ラザルモノヽ如シ且「事」ト云ヒ「件」ト云ヒ

文字ヲ互ニスルハ法律ノ文章ニ於テ允當ナラズ之ヲ改メテ「事件」ト爲シ他諸條ノ文章ト同一ナラシメント欲スト

○十五番（福羽美靜）贊成

○二十番（齋藤利行）贊成

○議長　五番ノ修正ヲ以テ議場ノ問題トス

○八番（山口尚芳）精神ニ於テハ五番ノ修正モ本條モ同一ナリト雖文字上ヨリ觀察スレバ却テ本條原文ノ方ヲ允當トスベシ臨時會ヲ開ク可キ事件アリテ後ニ之ヲ開クナリ故ニ過去ノ事ヲ云フノ文義ヲ用ユベシ且事ト云ヒ件ト云フハ文字使用ノ巧ナリ之ヲ改ムルニ及バズト思考ス

○五番（細川潤次郎）精神ニ妨ゲナキヲ以テ孰レニテモ大關係ナシト雖文

字上ヨリ論ズレバ現在ノ文義ヲ用ヰザル可ラズ故ニ其會議ヲ要スル事件トハ會議ヲ要スベキ事件ト云フノ義ナリ且本條ハ法律ノ文章ニシテ風流ノ文字ニアラズ參互シテ巧ヲ衒シ奇ヲ呈スルノ事アル可ラズ故ニ事件ト改メテ明瞭齊整ナラシメントスルナリ

○十五番（福羽美靜）文章上ヨリ見レバ五番ノ說ノ如クナラザル可ラズ本條ハ會議ヲ要スル時ニ就テ論ズル者ニアラズ臨時會ヲ開ク可キ規則ヲ定メタル者ナリ會議アラザルノ前ニ於テ定ムル所ノ規則ナリ故ニ時限ニ就テ論ズルモ亦過去ノ文章ヲ用ユルノ理ナシ且雅文ト律文トノ區別ヲ同一ニ論ズ可ラズ八番ノ說ハ允當ナラズト思考ス

○議長　五番ノ說ヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者十四人

○議長　同意者多キヲ以テ五番ノ說ヲ可トスル旨ヲ告グ

○書記官（戸田秋成）左ノ文ヲ朗讀ス

第五條　凡ソ地方稅ヲ以テ施行スヘキ事件ハ府縣ノ會議ニ附シ其議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スベキ者トス若シ府知事縣令其議決ヲ認可スベカラズト思慮スル時ハ其事由ヲ內務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フベシ

○議長　本條ヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者十九人

○議長　同意者多キヲ以テ本條ヲ可トスル旨ヲ告グ

○書記官（戸田秋成）左ノ文ヲ朗讀ス

第六條　府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度

ノ出納決算ノ報告書ヲ受クヘシ

○六番 柳原前光 本官ハ本案修正委員ノ一人ナリ然レ𪜈本條ヲ可トセス但委員ハ其多數ニ從フノ規則ナルヲ以テ心ナラズモ他ノ委員ノ説ニ因テ此條ノ如ク報告ヲ爲セリ今ハ議場ノ多數ニ因テ可否ヲ決スルノ時ニ際セリ本官ノ修正ハ「前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ之ヲ審査スルヿヲ得」トセントス其審査ノ字ヲ加ヘントスル所以ノ説ハ前會既ニ之ヲ盡セルヲ以テ今又言ハズ

○五番 細川潤次郎 賛成

○十九番 陸奥宗光 賛成

○一番 津田眞道 賛成

○議長 六番ノ修正ヲ以テ議場ノ問題トス

○十九番 陸奥宗光 審査ノ文字ニ就テ其極點ヲ論セハ種々ノ説アリト雖之ヲ通觀スルニ審査ト云ヒ報告ト云フモ事實同一ナルガ如シ是レ審査ノ文字ヲ非視スルノ論者ト雖認メテ然リトスル所ナリ而シテ語勢ノ順序ト他ノ條ノ關係トニ就テ觀察スルニ本條ニ審査ノ文字ヲ入ルヽヲ以テ適當ナリトス何ヲカ語勢ノ順序ト云フ本條府縣會ハ云々ノ言ヲ以テ文章ヲ起セリ是レ府縣會ヲ主トシタル者ニシテ府縣官ヲ主トセル者ニアラズ既ニ府縣會ヲ主トセバ其當サニ爲スベキノ事務ヲ掲ゲス唯「報告書ヲ受クベシ」ト云フハ是レ歸決ナキ文章ニアラズヤ若シ府縣官ノ職制ヲ記スルノ文章ナラハ報告書ヲ府縣會ニ附スルニ止テ可ナリト雖是ノ章ハ決シテ是ノ如ク歸決ナキ文字ニ止ム可ラズ何ヲカ他ノ條ノ關係ト云フ本議案第三號第七

條モ第二讀會ニ於テハ審査ノ文字ヲ用ヰルニ決セリ彼ノ條既ニ此ノ如シ本條獨リ審査ノ文字ヲ廢ス可ラザルナリ

○廿二番（中島信行） 本條別ニ修正ヲ加フルヲ要セズ議會前年ノ報告書ヲ受ルハ此レニ照參シテ次年ノ豫算ヲ立ルガ爲メナリ然ラハ之ヲ審査スルハ當然ノ事ニシテ別ニ本條ニ掲示スルヲ要セザル者トス若シ前年度ノ計算報告ニ不都合アルニ及ンデハ議會將サニ次年ノ豫算ヲ立ルヲ拒マントス故ニ議會ノ權能ク府縣官ヲ監視スルニ足レリ之ヲ約言スレバ次年ノ豫算ヲ立ントセバ必ズ前年ノ經費ヲ審査セザル可ラズ之ヲ審査シテ不都合ヲ見出サバ將サニ豫算ヲ立ルヲ拒マントス是レ自然ノ順序ナリ故ニ報告ヲ受ルノ一事アレバ他ノ諸事續起スルヤ知ル可シ何ゾ殊更ニ審査ノ文字ヲ掲グルヲ要センヤ

○七番（佐野常民） 審査ノ文字允當ナラザルハ前會ニ於テ畧ヾ之ヲ言ヘリ府縣會若シ決算ノ報告ヲ審査スルヲ以テ其主務トセバ國會モ亦此ヲ以テ主務トセザル可ラズ我現今ノ制タルヤ國計ヲ審査スルハ大藏省中撿査局アリテ之ヲ掌ル後來國會起ルノ日ト雖亦監視ノ權ヲ以テ國會ニ附シ審査ノ職ハ之ヲ大藏ニ歸スベシ之ヲ歐洲ニ例スルモ國會府縣會ハ報告ヲ受クト雖之ヲ審査スルヿヲ見ズ故ニ本條ハ本案ヲ存シ却テ之レニ例シテ第三號第七條審査ノ文字ヲ削ント欲ス

○十三番（前島密） 報告ヲ受ル以上ハ審査スルヿ其中ニ含蓄セリ故ニ審査ト明記スルモ報告ヲ受クト云フモ事實ニ於テ差異アルヿナシ但審査ト明記スルトキハ此事議會ノ主務トナリ常職トナルベク又爭端

ヲ啓クノ恐レアリ單ニ報告ヲ受クトナシテ其審査スルト否ヤトハ之ヲ議會ノ隨意ニ委又ルニ如ズト是レ前會ニ於テ審査ノ文字ヲ入ルヽ可ラザルノ議ヲ維持シタル所以ノ大旨ナリ然ルニ今議塲ノ問題タル修正ハ「審査スルヲ得」ト爲サントスルニ在レバ頗ル隨意ノ意義ヲ有セリ然レ𪜈今一歩ヲ進メテ之ヲ論ズルニ審査ノ文字ナキモ實際能ク監視スルヿヲ得又糾正スルヿヲ得バ殊更ニ爭端ヲ啓クノ嫌アル文字ヲ入ルヽヲ要セザルベシ況ンヤ報告ヲ得テ決算ノ不都合ヲ撿出スルニ及デハ之ヲ内務省ニ建議スルヿアルベク又之ヲ法庭ニ訟フルヿアルベキオヤ故ニ本官ハ審査ノ文字ヲ加フルノ修正ニ同意スル能ハス

○十九番（陸奥宗光）衆議官ノ駁議ヲ聞クト雖未ダ本官ノ前論ヲ變ズルノ理由ヲ見ズ若シ「報告ヲ受クベシ」トノ文章ニ止メバ本案ヲ置クノ效ナクシテ之ヲ删除スルモ亦妨ナシト信ズ何ントナレバ本案第三號第七條ニ報告書ヲ與フルノ明文アレバナリ府縣官報告ヲ與フルノ定制アレバ議會之ヲ受ルハ當然ノ事ニシテ殊更議會規則ノ條ニ之ヲ掲ルヲ要セザレバナリ既ニ議會規則ニ掲ル以上ハ議會ノ爲メニ職掌ノ在ル所ヲ指定セザル可ラズ或ハ云フ審査ノ字ニ因テ社會ノ安寧ヲ害スト又或ハ云フ上下ノ爭端ヲ啓クト本官以爲ラク上下ノ爭端ヲ啓キ安寧ヲ害スル如キハ事實之ヲシテ然ラシムルナリ時勢之ヲシテ然ラシムルナリ豈區々文字ノ上ニ在ランヤ見ヨ現ニ地方ノ人民其地方政務ヲ爭議スル者アリ地方長官ヲ對手トシテ之ヲ法庭ニ訟フル者アリ是レ豈事實ノ然ラシムルガ爲メニアラズヤ審

査ノ文字アリテ後此事アリト云フノ空論タル斷シテ知ル可シ故ニ「報告書ヲ受クベシ」ト云フ如キ歸決ナキ文章ハ之ヲ會議規則ノ中ニ置クヲ要セズ之ヲ第三號ノ七條ニ讓テ本條ヲ删除ス可シ然リト雖審査ノ文字ヲ非トスル議官モ亦事實ニ於テ審査スルコアリト云ヘリ然ラバ則チ事實ヲ文字ニ明示スルヲ以テ當然ノ事ト爲ス故ニ本條決シテ删ル可ラズ審査ノ字決シテ無ル可ラズ

○七番佐野常民　十九番ハ「報告書ヲ受クベシ」トノ句ヲ以テ歸決ナシト爲シ此ノ如キ文章ハ之ヲ删除スルモ妨ナシト云ヘリ本官ハ以爲ラク本條決シテ删除スルヲ得ズ何ントナレバ若シ之ヲ第三號議案第七條ニ讓リテ此ニ載セザレバ議會報告書ヲ府縣官ニ請求スルノ權ナケレバナリ且爭端ヲ啓クト云安寧ヲ害スト云フモ畢竟其精神ヲ

言フノミ唯審査ノ二字アルガ爲メニ直チニ此擾亂ヲ致スト云フニアラザルナリ故ニ此文字ヲ加フルト否サルトノ別ヲ明言シテ本官ノ論ヲ終ントス即チ次年ノ豫算ヲ立ルガ爲メニ前年ノ決算ヲ審査スル是レ豫算ノ主務アルガ爲メニ審査ヲ爲スナリ審査ヲ以テ議會ノ主務トスルニアラザルナリ若シ審査ノ文字ヲ本條ニ明掲セバ是レ此主務ニアラザル事ヲ以テ主務ト爲スナリ是レ本官ガ之ヲ加フルノ說ヲ非トスル所以ナリ

○六番柳原前光　審査ノ文字ヲ加フルヲ非トスルノ說許多ナリト雖其大旨報告ヲ受レバ審査アルハ當然ノ事ニシテ別ニ明掲スルヲ要セズト云フニ過ズ本官ハ此ノ如キ臆想ノ說ヲ信ズル能ハス七番言ハズヤ「報告書ヲ受ルヲ得」ノ條ヲ掲ゲザレバ議會報告書ヲ府縣官ニ請

求スルノ權ナシト然ヲバ「報告書ヲ受ルヲ得」トノ歸決ナキ文章ナヲンニハ議會之ヲ審査スルノ權ナシト云フヲ得ベシ唯報告書ヲ受ケバ之ヲ審査スルナラント云フハ是レ臆想ニ過ギズ本官ハ明揭スル者ヲ確保スルヲ得ルト雖臆想ニ安ンジテ此大關係アルノ事務ヲ輕々看過スルヲ得ズ

○一番津田眞道ニ審査ノ文字甚ダ緊要ナリ何ントナレバ次年ノ豫算ヲ立ントセバ先ヅ前年ノ决算ヲ審査セザル可ラズ之ヲ審査セザレバ豫算ヲ立ルニ由ナケレバナリ且ツ七番ノ說ニ歐洲ノ議會ニ此權ナシト云フト雖本官ガ聞ク所ヲ以テ信ズ可キ者トセバ諸國ノ議會大抵此權アリ佛語ノ「ドロアド、アンケート」トハ即チ審査ノ權ナリ之ヲ事實ニ察シ又之ヲ外國ノ例ニ見ルモ審査ノ文字ハ本條ニ必要ナリト信ズ

○二十番齋藤利行　審査ノ文字ヲ加フルノ議甚ダ可ナリ何ントナレバ報告書ヲ受ルハ之ヲ審査スルガ爲メナリ是レ審査ハ眼目ニシテ報告ハ其手續タルニ過ギズ豈ニ其手續ヲ存シテ却テ眼目ヲ棄ルノ理アランヤ若シ此眼目ヲ棄テハ此手續ヲ併セテ之ヲ棄ルモ亦可ナリ其說ハ十九番之ヲ詳論シタレバ今又言ハズ

○議長ニ時正午ニ際スルヲ以テ午後引續キノ會ヲ開ク旨ヲ告テ散會セシム

午後第一時開場

○議長ニ午前ヨリ引續キノ會ヲ開クニツキ各員直チニ討論スヘキ旨ヲ演述ス

○五番 細川潤次郎 本官ハ六番ノ動議ヲ賛成ス其所以ハ粗ホ同意議官ノ説明ニ盡キタリト雖モ尚オ所見ヲ陳スルヿヲ得ン府縣會ニ於テ前年ニ經費ノ摠額ヲ豫定シ其後ニ至リ出納決算ノ報告ヲ受ケ之ヲ審査スルニ要用ナル物質アリ何トナレハ報告書ヲ受ケ其出納ノ當不當ヲ審査ス是其一ナリ更ニ一歩ヲ進メテ言ハンニ其當不當ヲ認テ其翌年ノ豫算ヲ承認スルヤ否トニアリ是其二ナリ歐州各國ノ國會ニテハ審査ト承認トノ二ツヲ兼ヌルモノナリ府縣會ハ國會ノ體ヲ具ヱテ微ナルモノト謂フヘシ故ニ其報告書ヲ受ケ之ヲ審査スルニ非サレハ翌年ノ預算ヲ議定承認スルニ差支フ可シ故ニ徒ラニ其報告書ヲ受ルノミニテハ此意溟漠ニ歸シ會議ノ權力ヲ減削ス可シ若シ府知事縣令報告スルヲ肯セサルニ至ルモ亦タ之ヲ奈何トモスル

ヿ能サルヘシ或ル議官ノ説ニ會期ハ僅ニ三十日以內ニ過ス其事務ノ繁雜ナル知ル可シ之レヲシテ審査セシムモ徒ラニ一層ノ紛雜ヲ增スノミニテ詳明ナル審査ヲ爲スノ遑ナカル可シト又タ一説ニ議會ニ審査ノ職掌ヲ與ヘハ遂ニ府知事縣令トノ際ニ於テ相軋轢シ葛藤ヲ生シ騷擾ヲ起スノ恐アルヘシト豈ニ其レ然ランヤ葛藤ヲ生シ騷擾ヲ起スハ別ニ原因ノ有ルアツテ然ルナリ何ソ審査スルト爲サヽルトニアランヤ況ンヤ必ス審査ヲ爲スヘシト謂フニ非サルナリ得ルノ字ニツイテ見レハ判然明瞭ナラン故ニ議會ニ於テ府知事縣令ヲ信用シタルト信用セサルトニテ審査スルモ爲サヽルモ亦タ其隨意ナルヘシ又タ本條ハ文意泛然漠然タル者ナレハ修正ノ如クセサレハ文章モ亦タ妥貼ナラス是本官カ修正ヲ可トスル所以ナリ

○十六番（大給恒）本官ハ原案ヲ可トシ修正ヲ否トス其故ハ前會以來既ニ陳述數回ニ及ヘリ今更喋々辨スルヲ用ヒスト雖モ尚ホ其否トスル所以ヲ簡畧ニ陳セン前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受クルハ翌年度ノ預算ヲ立ツル參照ノ爲メニハ緊要ナレトモ其他ニ於テハ之ヲ要用ナリトセス六番修正ノ精神ハ審査スルヲ得ルヲ以テ主腦トス是レ實ニ怪ムヘキ說ナリ審査ヲ爲ス方ヨリ得ルト言フハ不適當ト謂フ可シ何トナレハ得ルト言ヘハ隨意ノ意ナリ或ハ審査ヲ主張セシ議官ノ精神ニモ違フヿアラン若シ強テ之レヲ修正セントナレハ審査スト斷然決定シタル命令ノ語ヲ用ユヘシ然レトモ修正ハ本意ニ非ス唯文章上ニツイテ論及スルノミ本官ハ到底修正ヲ不可トスルノ說ヲ固守ス

○六番（柳原前光）本官カ修正說ニ對シ十六番ノ駁說ニ審査スルヲ得ルト言ヘハ必ス審査ヲ主張セシ議官ノ精神ニ反違ス可シト本官ハ其果シテ違フト否ラサルハ各人々ノ意想中ニ蘊蓄シタレハ之ヲ知ルニ由ナシ故ニ論スルニ足ラストス本條ニ綱領タル要目ノナキハ一讀シテ瞭然知ルヘキナリ故ニ之レヲ修正スルナリ其要旨ハ府縣會ニ於テ前年度ノ出納決算ノ報告ヲ受ケ之レヲ審査スルヿヲ得ルト明々瞭々ニ揭載セハ會議ノ權力ハ弱點ヲ占メタルモ尚ホ之ヲ審査スルハ其權內ナレハ設使ヒ府知事縣令カ其審査ヲ欲セサルモ之レヲ要求スルノ權力ヲ有スルニ非スヤ徒ラニ其報告書ヲ受クトノミニテハ其報告中ニ若シ不都合ナル浪費濫用ト認ムルモ之ヲ審査スルヿ能ハサルノミナラス府知事縣令ニテ審査スルヲ許サスト言フト

モ之ヲ奈何トモスルヿヲ得ス或ル議官ノ説ニ報告書ヲ受クレハ之ヲ審査スルハ論ヲ待スト言フト雖モ是レ徒ラニ自己ノ臆想ノミ恃ミトスルニ足ラス法律ニ明文ヲ掲ケサレハ其權力ヲ有セサルモノトス故ニ審査スルヲ得ルノ字ヲ加ヘサル可ラス前説ヲ主張スルヿ此ノ如シ

○七番佐野常民 修正ヲ否トス何ントナレハ得ルノ字ハ隨意未定ノ意アツテ上文ノ報告書ヲ受クニモ係レハ此報告書ヲ受クルヿヲ得ルモ得サルモ隨意ノ自由トナルカ如シ然レハ大ニ本條ノ主旨ヲ害ス抑府縣會ニ於テハ前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ク既ニ受クレハ之ヲ檢閲審査スルハ固ヨリ論ナシ若シ分明審査ノ字ナキトキハ設使ヒ其出納上ニ於テ錯誤曖昧ノ支出アルモ其事由ヲ府知事縣令ニ推

問スルヿ能ストスルカ果シテ然ラハ單ニ審査ヲ得ルノ字面ノミニテハ其効用ナカルヘシ審査シテ推問尋糾スト迄ニ其節目ヲ明瞭ニ記載セサレハ不可ナラン本官ハ其報告ヲ得テ曖昧錯誤ト認ムレハ審査推問シテ可ナリトス何ソ必シモ之ヲ修正スルヲ用ンヤ

○十九番陸奥宗光 本官ハ六番ニ同意シ其理由ヲ陳述スルヿ既ニ兩回ニ及ヘリ今七番ノ説ヲ聞クニ十六番ヨリ尚オ一層誤認セシナラン得ルノ字何ソ上文ノ報告云云ノ字ニ係ルノ理アランヤ何ントナレハ之ヲノ字ニ着意シテ見ルヘシ之ヲト云フハ事物ヲ指シテ云フナリ此字ヲ以テ兩截シタレハ其報告云云ニ關係セサルハ少シク文字ヲ解スル者ハ一目シテ知ルヘキナリ原案ノ如ク唯其報告ヲ得ルノミニ止ルトキハ府知事縣令ハ既ニ其報告ヲ受クレハ沈默ス可シト言

フモ測ル可ラス其時ニ方テハ之ヲ奈何スルヤ故ニ之レヲ審査スルヿヲ得ルト明文ヲ掲ケ以テ法律トナシ而テ其報告書ヲ受ケ之ヲ審査シ若シ浪費錯誤アレハ之ヲ推問シ又タ告訴スルモ皆ナ議會權内ノ事トナス可シ既ニ其明文ナキモ目下地方官ヲ被告トシ上告スル許多アルニ非スヤ然レハ何ソ其推問尋糾スル權ノ有無ヲ問ハンヤ五番ノ説ノ如ク若シ議會ニ於テ其府知事縣令ニ信用ヲ措クトキハ之ヲ審査セサルモ可ナリ又タ議會ノ感觸ニ依テ之ヲ審査セント欲レハ審査スルヲ得ルナリ又タ十六番ハ修正恠ム可シト言フト雖モ得ルト記載スルハ實際ニ適切ナリ法律書中ニハ此ノ如キ文例許多アリ故ニ此法案ニモ掲載シタルナリ六番ノ修正決シテ不可ナシ

○十八番（楠田英世）七番十六番ノ説其理アリ亦タ六番十九番ノ説ニモ其

理ナキニ非ス夫レ府縣會ハ官民ノ聯絡ヲ善クスル爲メナリ之ヲ西洋ノ例ニ徵スレハ即チ州會ナリ此州會ニ於テ其議員ノ中ヨリ僅々タル委員ヲ選ヒ州長ノ事務ヲ監督シ又タ其利害得失ヲ討論シ施行ヲ認可スルノ權ヲ有ス特ニ出納決算ノミニ止マラサルナリ若シ州長ノ措置其宜キヲ得スト認ムレハ臨時會ヲ召集スルモ亦タ其權內ニアリ既ニ其權アリ然レハ審査ノ字ハ蛇足ナリ故ニ七番十六番ノ説モ根據ナシトセス然レトモ此ノ法案中ニ府縣ヲ監督スルノ原則ナシ故ニ已ムヲ得ス六番十九番ノ説ノ如ク審査ノ字ヲ加ヘサル可ラス是其理アリトスル所以ナリ然リト雖モ本官ハ仍オ此修正ニ修正ヲ加ヘンヿヲ欲ス假令ヒ人民ノ信用ヲ得タルモ苟モ一方ノ責任アル地方官ハ其公平無私ヲ表スル爲メ議會ノ審査ヲ求ムルハ固ヨ

リ論ナシ然レハ寧ロ審査ヲ爲スモ爲サヽルモ隨意ナル文字ヲ用ヒンヨリハ直チニ審査ス可シト修正シテ確定センコトヲ欲ス

○十九番（陸奥宗光）　十八番ノ説其精神ニ於テハ甚タ滿足セリ其審査ス可シト決定スルハ第三號第七條ノ通常會議ノ始メニ於テ審査ニ付スノ項ヲ參觀セハ自ラ其理趣ヲ悟リ必ス首肯スルヲ信ス本官ハ府知事縣令ハ必ス之ヲ審査ス可シト言ヒ議會ハ之ヲ隨意自由ニ任スルヲ可ナリト思慮スト

○十五番（福羽美靜）　六番ノ説ヲ可ナリトス事終始ナカル可ラス始メニ總額ヲ預定スレハ終リニ其出納ノ決算ヲ審査セサル可ラス然ラサレハ首尾不完ナリトス

○議長　討論ノ既ニ盡タルヲ認メ六番ノ動議ニ同意ノ者ヲ起立セシム

起立者十人

○議長　起立ノ員半數ナルヲ以テ職務條例第六條ニヨリ六番ノ修正説ヲ可ト決スル旨ヲ演述ス

○書記官（戸田秋成）　左ノ文ヲ朗讀ス

第七條　通常會期中議員ノ內一人又ハ數人其府縣內ノ利害ニ關スル事件ニ付政府ニ建議セントスル者アレハ議長ノ許可ヲ得テ之ヲ會議ニ付シ過半數ノ同議ヲ得タルトキハ其會ノ所見トシ議長ノ名ヲ以テ之ヲ內務卿ニ建議スルヲ得

○議長　發議ノナキヲ以テ本案ニ同意ノ者ヲ起立セシム

全員悉ク起立ス

○議長 本案全會一致可トスル旨ヲ告ク
○書記官戸田秋成 左ノ文ヲ朗讀ス
第八條 凡ソ府縣內ニ施行スヘキ事件ニ付テハ府知事縣令ヨリ議
案ヲ發シ會議ノ意見ヲ問フヿヲ得
○十九番陸奥宗光 精神ハ本案ニ異ラスト雖文章主客ヲ顚倒シタレハ之
レヲ修正セント欲ス何トナレハ則チ凡ソ府縣內ニ施行スヘキ事件
ニツキ云云ト是レ殆ント地方官職務條例中ノ文章ノ如シ是ヲ以テ
府縣會規則中ニ揭クルハ不可ナリ故ニ(府縣會ハ府知事縣令ヨリ其
府縣內ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フヿアルトキハ之レ
ヲ議ス)ト修正セハ可ナリ
○六番柳原前光 賛成

○一番津田眞道 賛成
○議長 十九番ノ動議ニ六番一番賛成シタレハ之ヲ議場ノ問題トナ
ス
○廿二番中島信行 修正ヲ要セス主客ヲ以テ論スレハ十九番ノ說ノ如ク
ナル可シト雖𪜈此ノ如キ文体特リ本條ノミナラス第五條ノ如キモ
亦タ此條ト體裁ヲ同フス然ルニ本條ノミヲ修正スルハ至要トセス
原案ニテ不可ナシ
○十三番前島密 決議ノ前ニ於テ一言ヲ陳セン本官ハ十九番廿二番ニ
モ同意スルヿ能ス本條ハ無用ノ贅物ナリト認ム何トナレハ乃チ第
三條ニ會議ノ議案ハ總テ府知事縣令ヨリ之ヲ發スト揭載シタレハ
殊更ニ本條ヲ設クルヲ要セス削除スルヲ可トス

○七番佐野常民　廿二番ノ説ノ如ク本條修正ヲ要セス十三番ノ之ヲ删除セント欲スルハ驚ヘキ論ナリ第三條ノ議案ニ府知事縣令ヨリ發スト言ハ地方税ヲ以テ施行スルヿニ限ルナリ本條ノ如キハ府縣内一般ノ利害得失及ヒ國費ヲ以テ施爲スルヿモ知事令ヨリ會議ノ意見ヲ問フヿアレハ之ヲ議スルヿヲ得ルナリ第五條第七條及ヒ本條ハ府縣會ノ大主腦ナリ本條決シテ删除ス可ラス又十九番ハ文体主客顚倒ヲ以テ論スレトモ第五條モ亦タ同一ノ体裁ナリ特ニ本條ノミ修正スルヲ要センヤ原案ニテ可ナリ

○十九番陸奥宗光　二個ノ反對論ヲ得タリ其一ハ本條ヲ删除セントシ其一ハ原案ヲ保持ス本官之ニ甘服セス更ニ一言ヲ陳述セン第五條ト同一ノ体裁ナレハ本條モ修正ヲ要セスト言ト雖モ決シテ否ラス第

五條ニハ府縣會ノ權限ヲ定メタル者ニテ若シ認可ス可カラスト爲ル時ハ内務卿ニ具狀シ其指揮ヲ請フ此時ニ方リ其具狀ニハ府知事縣令ノ名ヲ以テスルトモ府縣會ト地方官ト連帶シタルハ論ヲ待スシテ明カナリ本條ノ如キハ之ニ異ナリ府知事縣令ヨリ垂問スルヿノミヲ掲載シタルモノナリ十三番ハ議案ハ府知事ヨリ發スル者ナレハ殊更ニ本條ヲ設クルヲ要セス删除ス可シト言フハ本條ノ議案ノ字ニ着目セシ論ナルヘシ故ニ修正ニハ議案ヲ發スルヲ意見ヲ問フニ作ル然ラハ則チ府知事縣令ヨリ議案ヲ發スル説ニ關係アルヿナシ固ヨリ原案ト同一ノ精神ナレハ強テ論究スルニ足ラスト雖モ修正スレハ文章穩妥ナルヲ以テナリ

○六番柳原前光　修正ヲ贊成スル大意ヲ陳セン原案第一章中ノ各條欵大

抵府縣會ハノ字ヲ以テ冒頭トナス修正ノ第八條モ亦タ此字ヲ以テ冒頭トナス其通常會臨時會ト言フモ即チ府縣會ナリ獨リ第五條ニノミ此字ノ冒頭ナシト雖モ第五條ニ於テ議決ハ會議ニ屬シ施行ハ府知事縣令ニ屬スレハ之レヲ置サルモ妨ケナシト雖モ他ノ條欵ニ至テハ文章ノ体裁同一ニ出テ府縣會ノ精神ニ適フ故ニ修正スルヲ可トス

○八番（山口尚芳）本條主客ノ位置ノ如キハ敢テ關スル所ニ非ス然レトモ之レヲ删除セント言フニ至テハ全案ノ精神ニ於テ大關係アリ前數條ハ專ラ地方税ヲ議スルコナリ然レトモ本條ノ如キハ汎ク衆議ヲ採ルノ聖旨ニ基キ衆ニ諮詢スルカ主義ナリ故ニ要用ノ條欵ナリトス十九番ノ説ノ如ク文字上ノ主客ヲ論スレハ先ツ第三條ヨリ修正

セサレハ穩安ナラサルヘシ畢竟原案第一章ハ府縣會ノ總則ナレハ府縣會ヲ主トシテ言フモアリ府知事縣令ヲ主トシテ云フモアリ其主客ノ錯雜ハ深ク咎ルニ足ラス何ソ必シモ之ヲ修正スルヲ用ンヤ

○議長　討論ノ既ニ盡タルヲ認メ十九番ノ動議ニ同意ノ者ヲ起立セシム

○　起立者十一人

○議長　十九番ノ動議ニ同意者多數ナルヲ以テ可トスル旨ヲ告ク

○書記官（戸田秋成）左ノ文ヲ朗讀ス

○第九條　府縣會ハ議事ノ細則ヲ議定シ府知事縣令ノ認可ヲ經テ之レヲ施行スルヲ得

○議長　發議ナキヲ以テ本案ニ同意ノ者ヲ起立セシム

全員悉起立

○議長　全會一致本案ヲ可トスル旨ヲ告ク

○書記官（戸田秋成）　左ノ文ヲ朗讀ス

第十條　府縣會ハ前數條ニ掲クル事件ヲ議スルノ外汎ク大政ニ論及スルコヲ得ス

○番外一番（松田道之）　本條ハ內閣下附ノ原案ノ旨意ニ反戻ス故ニ之ヲ削除セント欲ス其故ハ本案ノ如クナレハ前數條ノ事件ヲ議スルニ於テハ汎ク大政ニ論及スルモ可ナリトスルカ如シ元來府縣會ニ於テハ屢々大政ニ論及スルニ至ルヿアラン譬ハ地方稅ノ如キ一府縣內ニ限ルモノト雖𪜈其利害得失ヨリ遂ニ正租ニ論及シ其他兵制ナリ戶籍ナリ勢ヒ遂ニ大政ニ及サルヲ得サルニ至ラン故ニ原案ノ主意ハ

府縣會ハ專ラ府縣內ノ事ヲ議シ大政ヲ論スル所ニ非スト雖𪜈其波及ヲ預防セン爲メ大政ニ及フヲ得スト記載セリ然ルニ本案ニテハ前數條ノ事件ヲ議スルノ外トアレハ前數條中ナレハ大政ニ論及スルモ可ナリト認ムル者アルヘシ削除セサレハ原案ノ主意ニ反戻スル故ニ緘默ニ附スルヿ能ハス

○六番（柳原前光）　內閣委員ノ說明極メテ明瞭ナリ修正委員ノ意見ハ其說明ノ如キニアラス前數條ハ府縣內ノ事ヲ議スルノミニテ其外ニ汎ク大政ニ及フ可カラストノ意ナリ然レ𪜈文字上ニツイテ見ルトキハ內閣委員ノ說明ノ如ク解ヲ下ス者アラン故ニ之レヲ削除ス可シ

○十九番（陸奧宗光）　贊成

○一番（津田眞道）　贊成

○五番細川潤次郎　前會原案ノ第一條ヲ議スルニ方テ泛ク大政云々ヲ刪除セント欲セシナリ故ニ再ヒ一言ヲ陳セサルヲ得ス內閣委員ノ本條ヲ解スルモ亦タ一說ナリ（ノ外）ノ字ニ着目セシナラン果シテ此ノ如クナレハ必ス葛藤ヲ生スルニ至ラン又タ泛ク大政ニ及ハスト言フトキハ大政ハ許サス小政ハ許スト言フ如キ說ナキヲ保セス然レトモ其大小ノ區別ノ如キハ固ヨリ之レ有ラサルナリ府縣會ノ職務權限ハ第一條ヨリ第九條マテニテ既ニ盡セリ然ルニ本條ニ至テハ丁寧反覆ニ其意ヲ申明シタル意ナルヘシト雖𪜈却テ前數條ノ精神ヲシテ弱點ニ歸セシムルナリ故ニ之ヲ刪除スルヲ可ナリトス

○十三番前島密　本條ヲ刪除スルノ說ハ其理ナキニ非ス然レトモ府縣會ニ於テ漫然大政ニ論及セハ之ヲ禁止スルハ勿論ナリト雖𪜈前數

條ノ事件ヲ議スルニ方テ大政ニ波及スルヿナシトモ保ス可カラス故ニ本官ハ本條ヲ刪除セス之レニ修正ヲ加ヘテ存セハ其刪除ニ勝レルヿ數籌ナラン或ル議官ハ大政小政ノ區別ハ固ヨリナキヿナリト言フト雖𪜈此大政ト云ハ全國一般ニ係リタル稱ナリ故ニ之ヲ修正シテ府縣會ハ大政ヲ議スルヿヲ得スト此ノ如クシテ可ナリ

○七番佐野常民　內閣委員ノ說明了解セス本條ノ如クナレハ前數條中ノ事件ハ大政ニ論及スルヲ得ルト認ムル者アラン故ニ刪除スヘシト言フト雖𪜈前數條中ニハ何ヲ記スルヤ之レヲ熟讀玩味スレハ其意味自ラ分明ナラン其第一條ヨリ第八條ニ至ルマテハ其府縣內ノ事件ノミナリ第九條ハ議事ノ細目ナリ然レハ一府縣內ノ事ノミヲ議スルニ止ルト雖𪜈或ハ其利害得失上ヨリ地方稅ニ關セサル事項ニ

テ大政ニ波及セストモ言ヒ難シ故ニ原案ノ第十七條ノ意ヲ以テ本條ヲ設ケ禁止ノヿヲ明示セシナリ本案ニテ可ナリ

○番外一番松田道之　本條ノ解シ方ハ僅々タル議官ノ中ニテ各人各異ノ解シ方アリ法律ノ文ニテ此ノ如キ解シ方ノ異ナルハ其不可ナル固ヨリ論ヲ待ス且七番ノ説ハ前數條ニハ大政ノヿナシト解シタルモノニ似タリ前條ノ外他事ニ及ストニテモ記セハ可ナラン前數條ハ則チ大政ノ下ニアルモノナリ遂ニ大政ニ論及シ易キハ勢ヒノ然ラシムルモノナリ一府縣ノ利害得失ヨリ大政ニ波及スルハ特ニ税法ノ一事ノミニ非ス戸籍法ナリ地租改正ナリ鎮臺ノ配置ナリ保護上ニテモ多ク自己ノ利害ニ適切ナルヲ思慮スルハ人情ノ免カレサル所ナレハ終ニハ國憲マテモ論及スルニ至ラン故ニ十三番ノ如ク修正スルカ否ラサレハ删除ス可シ

○六番柳原前光　目今議場ノ論緒三岐ニ分レリ則チ本案主持ト删除説ト修正説ナリ其修正ノ要點トスル所ハ大政ニ及フナリ其理ナキニ非スト雖モ本官ノ删除説ヲ主張スル所以ハ大政ト小政トノ區別不分明ナリ修正ノ如クシテモ憲法法律等ノ註解ヲ要スル如クナラン若シ辨論家アレハ漫ニ大政ヲ論シ而シテ之レヲ小政ナリトスルモ詰責スルヿ能ス然ル所以ハ其分界ノ分明ナラサルニ依ルナリ他日弊害アリト認ムル者ヲ以テ之レヲ法律トナスハ不可ナリ故ニ本官删除説ヲ主張ス

○廿二番中島信行　六番ノ議ニ同意ス其理由ヲ簡約ニ陳セン抑法律ノ文体ニ於テハ第一條ヨリ第九條ニ至ルマテニテ府縣會ノ權利義務ハ

明了ニ指示シタリ然ルニ本條ヲ掲載スレハ之レヲ自家撞着ノ法律ト言サルヲ得ス既ニ此事項ハ議ス可シ此事項ハ議ス可ラスト掲ケ更ニ又タ禁止ノ語ヲ本條ニ掲クルハ前數條ノ精神ニ阻礙ヲ生セン十三番ノ說ニ大政ハ全國一般ニ係リタル者ナリト果シテ然ラハ全國ニ及ヌ事ナレハ大政ニ非ストシテ論シテ可ナリト言フ者ナキヲ保セス法律ノ文ハ一目瞭然解シ易キヲ可ナリトス此ノ如キ曖昧糢糊タル文ハ删除セサル可ラス

○十五番福羽美靜　六番ノ議ニ同意セス前會既ニ陳述セシ如ク下附ノ原案第十七條ニ泛ク大政ニ及フヲ得スト極メテ緊要ノ條款トナセハ删除スヘカラサルモノトス然レトモ本案ノ文字ニテハ滿足スルヿ能ス若シ十三番修正案議場ノ問題トナルニ至ラハ尚ホ之ヲ詳陳セン

○八番山口尙芳　六番ニ同意ナリ本條ヲ存セントスル迷誤ハ原案十七條ノ曖昧タル語ヲ以テ起シ曖昧タル語ヲ以テ結ヒシニ起因ス再修正ニ至ツテハ會議ノ職務權限ハ既ニ判然明了ナリ何ソ必シモ此ノ如キ曖昧タル條項ヲ附スルヲ用ンヤ且議案ハ府知事縣令ヨリ發ス議論若シ問題ノ外ニ涉レハ之レヲ制止スルヿヲ得ルナリ故ニ删除ヲ可トス

○議長　討論ノ既ニ盡キタルヲ認メ六番ノ動議ニ同意ノ者ヲ起立セシム

起立者十四人

○議長　多數ナルヲ以テ本條删除ニ決シ來ル六月三日ヲ以テ引續ノ

會ヲ開ク旨ヲ告ケ散會セシム

午後第三時閉場

○第百一號議案 地方官會議ニ於テ議定セシ第一號第二號第三號議案 第二號第二讀會 二十五日ノ續キ

議長代理 陸奥宗光

出席議官

一番 津田眞道

四番 大久保一翁

五番 細川潤次郎

六番 柳原前光

七番 佐野常民

八番 山口尙芳

十番 東久世通禧
十二番 秋月 種樹
十三番 前島 密
十五番 福羽 美靜
十六番 大給 恒
廿一番 田中不二麿
廿二番 中島 信行
廿九番 岩下 方平

内閣委員 番外一番 太政官大書記官 松田 道之

午前十時二十分開場

○議長 一昨日ノ續キトシテ本案第二讀會ヲ開ク旨ヲ演説シ各議官

ヲシテ討論セシム

○十六番（大給恒） 前會ニ於テ陳述シタル意ヲ續テ駁論者ニ答ン駁論者ノ説ニ本案第六條ハ議會ノ主務ナリ故ニ地方税ヲ議スルノ言ハ之ヲ第一條ニ掲グベシト雖他ハ皆例外ノ事務ニ屬ス故ニ地方ノ事ヲ議スルノ文字ヲ第一條ニ掲グルハ不可ナリ其議ス可キノ主務ニアラザルガ故ナリト本官ノ所見ハ否ラズ其建議對問ヲ問ハズ議會ニ於テ關係スル者ハ即チ議會ノ務ナリ而シテ其事皆府縣ノ事ニ係ル故ニ第一條ニ一昨日陳述セシ如ク地方ノ事ヲ議スルノ一句ヲ掲ゲテ其權限ヲ明ニシ而シテ其總額ヲ豫定スル云々ノ文字ハ之ヲ第二條ニ置テ可ナリ

○十二番（秋月種樹） 十六番ノ説ヲ可トス其可トスルノ説ハ約テ十六番ニ

同ジ

○八番山口尚芳　前會ニ於テハ本案ヲ否トシ十六番ト全ク同説ナリシガ更ニ熟考スルニ十六番ノ説モ亦未ダ全ク允當ナラザルニ似タリ故ニ更ニ陳述スル所アラントス此地方税徴收方法ヲ議スト云フハ唯其徴收ノ方法ニ止ルガ如クニシテ其意完全ナラズ故ニ地方税ヲ以テ支辨ス可キ費途ノ文字ヲ加ヘ大政云々ノ一句ヲ削テ本條ヲ修正セントス此一句ヲ削ルモ其府縣ノ治術ヲ汎ク議スルノ事ナキハ議案ハ皆府知事縣令ノ手ヨリ出ルヲ以テ十分ノ制限ヲ與フヘシト思考ス故ニ前會同意ノ説ハ之ヲ取消スト

○十三番前島密　八番ハ「徴收方法ヲ議ス」ノ句ヲ以テ意義十分ナラズト云フト雖第六條ニ「地方税ヲ以テ施行スベキ事件云々」ト明言ス

故ニ第一條ニ費途云々ノ文字ヲ加フルニ及バス

○議長　十六番ノ説ニ同意ノ議官ヲ起立セシム

起立者四人　少數

○十三番前島密　修正説ヲ出テ曰審査ノ文字允當ナラズ蓋シ實際ノ都合ヲ考レハ後年ノ豫算ヲ立ルガ爲メニ前年ノ決算ヲ審査スルハ必定ノ事ナリト雖之ヲ文字ニ明掲スル時ハ審査ヲ以テ議會ノ主務トスルニ當ルヲ以テ其審査ヲ遂タルヲ回答セザル中ハ議會ノ事務其局ヲ結バザルガ如シ且事必ズ豫定ノ如キ能ハザルハ事務實施ノ上ニ免レサルヲ以テ多少ノ融通ヲ爲シテ之ヲ處辨スルヿアリ故ニ審査ト云フ嚴格ノ文字ヲ用ヰルハ不可ナリ歐洲諸國ニ於テモ報告ヲ受ルヲ常例ト爲ス本官ハ此等ノ理由ニ因テ第一條ヲ修正シ「府縣

會ハ專ヲ地方稅ノ豫算ヲ商定シ其徵收方法ヲ議スル所ニシテ汎ク
大政ニ及ブヲ得ズト爲シ且原案ノ第二十五條ノ「府縣會ハ」ノ四字
ヲ删リ之ヲ本案第三條ノ次ニ入レントス

○十六番大給恒 贊成

○十二番秋月種樹 贊成

○議長 問題トス

○六番柳原前光 之ヲ駁シテ曰審査ノ文字ヲ削ルハ甚ダ不可ナリ報告ヲ
受ルトハ其帳簿ヲ議會ニ示スニ止マル決シテ其他ノ意義ヲ「報告ヲ
受ク」ノ文字中ニ見ズ夫レ地方稅ノ總額ヲ定ムルハ議會ノ主務ナリ
既ニ之ヲ定メバ又之ヲ査スルノ權無ル可ラス前ニ定ムレバ後ニハ
其成蹟ヲ問フニ及バズト云フハ權衡ヲ失スルニアラズヤ

○十三番前島密 六番ノ說甚ダ奇異ナルヲ覺ユ「報告ヲ受」トハ帳簿ヲ見
ルニ止マルト云フ本官ハ決シテ此ノ如キ疎略ナルコトナキヲ信ズ其
報告ヲ得テ之ヲ熟視シ且其當否ヲ察スルハ必然ナリ故ニ事實ニ於
テ審査ト異ナルモノナシ且ツ夫ノ銀行ノ一例ヲ見ヨ株主ハ其社ノ
實權ヲ有シ唯其取扱人ヲ撰ンデ事務ヲ附托スル者ナリ而シテ其出
納決算ハ報告ヲ受クルニ止マレリ今堂々タル地方官ニシテ既ニ議
會ニ其經費ヲ豫定セシム又何ゾ其決算ヲ審査スルヲ要センヤ之ヲ
審査スルヲ必要トスルハ是レ地方官ヲ信ゼズ其行爲ヲ疑惑スルニ
異ナラザルナリ

○六番柳原前光 本官ハ却テ十三番ノ說ヲ奇異トス何ントナレバ銀行ト
議會トヲ同視スヘカラス銀行ノ取扱人ハ其株主ノ信依シテ任ズル

者ナリ議會地方官ハ政府ヨリ命スル所ナリ決シテ議會ノ委任セシ者ニ非ス且地方官ノ堂々タルハ勿論ナリト雖議會モ亦人民ノ名代ニシテ之ヲ堂々タラズト云フ可ラズ之ニ加フルニ十三番ハ報告ト云フモ其事實ハ審査ニ同シト云フ然ラバ名實相適セシムルヲ以テ更ニ可ナリトス十三番ノ言ハ審査ヲ助クルノ説ト謂フヘシト

○十五番福羽美靜 汎ク大政ニ及ブヲ得ズノ一句上下連絡セサルヲ以テ本官モ亦之ヲ修正セント欲ス然リト雖審査ヲ改メテ報告ト爲スハ不可ナリ元來民費或ハ區入費トハ維新前ノ町村ノ費用ニシテ其遺拂ハ名主莊屋等ニテ之ヲ掌レリ維新以後右ノ名稱ヲ下シ隨テ人民ト其壇域ヲ隔ツ今又改メテ地方税トナス時ハ全ク政府ノ域內ニ屬ス故ニ人民ヲシテ之ヲ詳知セシムルノ方法ヲ設ケザル可ラズ是レ

「報告ヲ受ク」ト爲スヨリ審査スト爲スヲ愈ルトスル所以ナリ

○番外一番松田道之 報告ヲ受クトハ唯帳簿ヲ示スニ止マルト云フ是ノ説不當ナリ既ニ報告ヲ受ケ之ヲ閲シテ其錯誤ノ蹟ヲ發見セバ之ヲ糾正スルノ權アルヤ知ルベキナリ何ントナレバ其經費ハ原ト議會ノ豫定ニ成レリ故ニ出納決算若シ其豫定ニ違フアラバ之ヲ問ヒ之ヲ糾スハ當然ナレバナリ民間ノ約條ト雖其前約ニ違ヘルノ事ハ相互ニ之ヲ責ムルノ權アルニアラズヤ況ンヤ堂々タル議會ニ於テヲヤ惟審査ノ文字ハ甚ダ圭角アリテ恰モ大藏ノ撿査局ニ於テ他ノ官衙決算ヲ勘査スルガ如シ之ヲ官民ノ間ニ用ヒハ徒ラニ爭論ヲ生ズルノ端ヲ啓カン報告ノ字ヲ用ユルモ其實糾正ノ權アラバ又何ノ不可アランヤ

○二十二番（中島信行）　審査ノ文字ヲ削ルハ修正本案ノ精神ヲ破ル故ニ一言之ヲ辨ゼザルヲ得ズ且十三番ノ修正説ニヨレバ原案第二十五條ノ「府縣會ハ」ノ句ヲ削テ之ヲ本案第三條ノ次ニ置クトナス其意義ノ可不可ハ姑ク之ヲ措キ唯文字上ニ就テ之ヲ論スルモ原案第二十五條ノ首句ヲ删レバ其報告ハ何者カ之ヲ受ルヤ文字ノ章ヲ成サヽル啻ニ木ヲ以テ竹ニ接スルノ類ノミナラザルナリ且十三番及ビ番外一番ハ報告ト云フモ其不正ヲ糾正スルノ權アリト明言セリ既ニ其不正ヲ糾ス其甚キ者ニ至テハ之ヲ訟庭ニ論ズルニ至ルハ當然ナリ是レ審査ニアラズシテ何ゾ夫レ名ハ實ヲ表スル者ナリ其實審査ナラバ之レニ其名ヲ附スル何ノ妨カ之アラン啻妨ナキノミナラズ實ニ允當ニシテ變換ス可ラザル者ナリ番外一番又云フ審査ノ文字

圭角アリ爭論ノ生ズルノ端ヲ啓クト本官ハ以爲ラク報告ト云フモ其實ハ審査ナリト云ハヽ審査ノ極ハ之ヲ法庭ニ訴フルニ至ラン然ラハ報告ト云フモ豫定スル所ニ違フ者アラハ爭論ヲ生スヘク審査ト云フモ豫定スル所ニ違ハスンハ爭論ヲ生セサルヘシ爭論ノ生ト不生トハ報告ト審査トニ關セサルナリト

○議長　時既ニ正午ナルヲ以テ一旦散會ヲ命ス

午後第十二時三十分開場

○議長　演説如恒例

○七番（佐野常民）　審査ノ字允當ナラズ必ズ之ヲ改メテ報告トセザル可ラズ歐洲諸國ノ州會邑會皆報告ヲ受ルニ止レリ蓋シ議會ハ決算ヲ審

査スルヲ以テ其主務トセザレバナリ之ヲ國會ニ推考スルニ府縣會ニシテ府縣費途ノ決算ヲ審査セバ國會モ亦國計ノ決算ヲ審査スルヲ以テ其主務トセザル可ラズ僅カニ有限ノ日數ヲ以テ豫算ヲ定メ又決算ヲ審査スルハ其主務至煩ニシテ或ハ却テ疎畧ニ失スルノ患ナシトセズ故ニ報告ヲ受ルト爲スノ允當ナルニ如ズ其修正ノ仕方ハ十三番ノ説ノ如ク原案ノ第二十五條ヲ本案ノ第三條ノ次ニ入ルヲ可トス併シ十三番ハ府縣會ハノ三字ヲ削ルト云フ其處ハ本官ノ見込ト少々違フナリト

○一番津田眞道　十三番ハ審査ノ字面ヲ非トシ之ヲ換ヘントス本官ハ却テ審査ノ字要用ナルヲ覺ユ廣ク公議ヲ取ルハ今日我政論ノ綱領ナリ其廣取ノ意ヲ推及セバ審査セシムルノ可ナルヤ知ルベシ或ル議

官ハ歐洲ニ此例ナシト云フ其ナキハ當然ナリ本官曾テ阿蘭ニ在テ其政制ヲ察スルニ州治ノ如キ其官吏數十人アリト雖王命ニ因テ之レニ任ズルハ唯州長一人アルノミ其他ハ皆人民ノ代議士中ヨリ撰任セラルヽ者ニシテ即チ議會ノ委員ナレハ議會ハ費途ノ報告ヲ受ルニ止マル又何ソ審査ヲ要スルヲ用ヒンヤ今我國府縣ノ如キハ其情勢大ニ之レニ異ナリ故ニ歐州諸國ニ其例ナシト云テ審査ヲ非トスルハ本官ノ取ラザル所ナリ

○議長　十三番ニ同意ノ者ヲ起立セシム

起立者五人少數

○八番山口尙芳　修正説ヲ出ス其要旨ハ總則ノ文字允當ナラザルヲ以テ之ヲ議事ト改メ本章ト第三章トヲ連接シテ一章ト爲シ且第一條ヲ

「府縣會ハ地方税ヲ以テ支弁ス可キ費途及ヒ其徴收方法ヲ議シ其總額ヲ預定ストシ別ニ第八條ヲ設テ原案ノ第二十五條ヲ移シ而シテ其出納決算ノ報告ヲ受クト云フ處ヲ出納決算ヲ審査スト改正スルニ在リ

○議長　八番ノ修正説ハ賛成者ナキヲ以テ之ヲ廢棄ス

○五番（細川潤次郎）　修正案ヲ出シテ云フ既ニ議論アリシ如ク「然レ𪜈泛ク大政ニ及ブヲ得ズ」ノ一句ハ上文ニ連續セズシテ不倫ニ屬セリ原案ハ府縣會ハ府縣ノ事云々ノ句アルヲ以テ意義ヲ爲スト雖此ノ如ク斷截シテ其連絡ヲ失フトキハ遂ニ意義ヲ併セテ斷爛ヲ免レサルニ至ル且大政ト云フモ其區域ヲ定ル甚タ難シ或ハ誤認シテ小政ナラハ泛及スルモ妨ケスト云ハン又「得」ノ字ハ隨意ノ意義ナレハ方

法ヲ議スルヿヲ得總額ヲ豫定スルヿヲ得決算ヲ審査スルヲ得ルト云ハヽ之ヲ爲スモ隨意之ヲ爲サヽルモ隨意ナルヘシトノ解説ヲ下サン故ニ本官ハ議會ノ事務ヲ三欵ニ別テ徴收方法ヲ議スルヲ一トナシ總額ヲ豫定スルヲ一トナシ決算ヲ審査スルヲ一トナシ此意ヲ以テ本條ヲ「府縣會ハ地方税徴收方法ヲ議シ其總額ヲ豫定シ且前年度ノ出納決算ヲ審査ス」ト修正シ其以下ノ句ヲ删除セントス其審査ノヿニ付テハ種々ノ議論アリト雖實際ニ於テ大ナル差異ナシト云ヘハ猶更本條ノ文意ニ於テハ自他ノ區別アリテ報告ノ字ヲ用ヒ難キヲ以テ審査トスルノ穩ナルニ若カサルナリト

○六番（柳原前光）　謹テ賛成ス

○議長　問題トス